

Voice...7

消防試験研究センターだより vol.410

2025



top 「大地震後の避難所は混乱状態から始まる」

日本女子大学建築デザイン学部建築デザイン学科 教授 平田京子

こだま 「危険物取扱者試験への取り組み」

学校法人伊万里学園 敬徳高等学校（佐賀県）

支部の広場

埼玉県支部からお届け





表紙によせて 埼玉県支部からお届け



熊谷うちわ祭(熊谷市)／表紙上段

熊谷うちわ祭は江戸時代から続く八坂神社の例大祭です。毎年7月20日から22日にかけて3日間開催され、12台の山車・屋台が熊谷囃子とともに市街地を巡行する様子は、その絢爛豪華さから「関東一の祇園」と称されています。

クライマックスは22日の夜で、あちらこちらの街角で鉦(かね)や太鼓の叩き合いが繰り広げられながら、山車と屋台がお祭り広場に集結します。ライトアップされた山車・屋台と数万の人の波、夜空に響き渡るお囃子と歓声が訪れた方々を熱く燃えさせます。

【写真提供：(一社) 埼玉県物産観光協会】

埼玉ブランドの梨「彩玉(さいぎょく)」／表紙下段

「彩玉」は埼玉生まれの埼玉育ち。昭和59年に「新高」と「豊水」を交配し、選抜を重ねて育成した新品種で平成17年に農林水産省に品種登録されました。

県育成品種であることを活かし、生産は埼玉県内に限定されており、まさに「埼玉ブランド」の梨といえます。大きさと甘さが特徴で、大玉(約550g)でジューシー、糖度13度から14度で8月中旬から下旬頃が収穫期です。宅配・通販も行っておりますので、埼玉県の日本一おいしい梨を是非ご賞味ください。

【写真提供：埼玉県】

①秩父夜祭(秩父市)

秩父夜祭は、秩父地方の総社「秩父神社」の例大祭の付け祭りで、江戸時代中期、秩父神社周辺に立った絹織物の市の経済的な発展とともに盛大に行われるようになりました。京都の祇園祭、飛騨の高山祭とともに「日本三大曳山祭」に数えられています。毎年12月2日(宵宮)・3日(大祭)の日程で行われ、クライマックスは3日の夜で最大20トンもある笠鉦2台と屋台4台の計6台が団子坂(だんござか)という急坂を曳き上げられる光景は圧巻です。例年20万人を超える多くの観光客が訪れています。「秩父祭の屋台行事と神楽」は国重要無形民俗文化財に指定され、全国の「山・鉦・屋台行事」の一つとしてユネスコ無形文化遺産にも登録されています。

【写真提供：(一社)埼玉県物産観光協会】

②首都圏外郭放水路(春日部市)

首都圏外郭放水路は春日部市に所在し、地下50mを流れる世界最大級の地下放水路で首都圏の水害を軽減する目的で国が整備した治水施設です。象徴的な施設である調圧水槽は、幅78m・長さ177m・高さ18mの広さを誇るマンモス水槽で、調圧水槽のコンクリート製の柱は59本あり、1本当たりの重量は約500トンあります。ギリシャの「パルテノン神殿」のような柱と空間の巨大さから、地下神殿ともいわれています。

また、ロケ地としても有名で映画「翔んで埼玉」やドラマ「下町ロケット」などで使用されており、一般の方の見学コースも用意されています。

【写真提供：(一社)埼玉県物産観光協会】

③時の鐘(川越市)

時の鐘は情緒あふれる蔵造の街並みにひととき高くそびえる小江戸「川越」のシンボルで、江戸時代初頭から城下町に時を告げ、庶民に親しまれてきた鐘つき堂です。度重なる火災で鐘楼などが焼失し、現在建っているのは四代目です。

時代が変わり鐘つきの方法が鐘つき守りから機械仕掛けへと変化しても、昔と変わらず今も蔵造りの街並みに一日4回(6時・正午・15時・18時)時を告げ、その響きの良い音色は平成8年に環境省の「残したい」日本の音風景100選」に認定されました。

【写真提供：(一社)埼玉県物産観光協会】

④羊山公園「芝桜の丘」(秩父市)

芝桜の丘は秩父のシンボル武甲山(1,304m)の麓、羊山丘陵の斜面を利用して様々な色の芝桜を組み合わせで植栽されており、面積は約17,600㎡に広がり、ピンクや白、紫など10品種、40万株以上で、文字通り「花のパッチワーク」の丘です。開花時期は天候に左右されますが、毎年4月中旬頃から5月初旬で大型連休のころが見頃です。

毎年、多くの観光客が訪れ、公園内に併設される「秩父マルシェ」では蕎麦や地酒、みそポトなどのご当地グルメを花とともに堪能していただいています。

【写真提供：(一社)埼玉県物産観光協会】

002

top

大地震後の避難所は混乱状態から始まる
日本女子大学建築デザイン学部建築デザイン学科
教授
平田 京子

004

こだま

危険物取扱者試験への取り組み
学校法人伊万里学園 敬徳高等学校
実習教諭 盛田 恭章

006

合格体験記

松田 亘
北海道北見工業高等学校
電子機械科 3年

008

支部の広場

埼玉県支部からお届け

010

業務情報

令和6年度事業報告及び決算
令和6年度の試験実施結果について
令和6年度の免状作成等の状況について

030

チャレンジ!乙種危険物取扱者

(第5回)『指定数量』に関する練習問題と解説

031

topic

032

業務報告

4・5月の試験実施結果・免状作成状況

7
Voice...

消防試験研究センターだより
2025 July vol.410

3

避難所の最初は、こんな感じで始まるかもしれない。そのとき、避難所は役所の人が駆けつけると共に、住民や学校関係者など、運営者が準備を整えているはずなのだが、あなたの町では、誰がどのような避難所の開設をするのだろうか。自治体職員だけでは到底人手は足りない。住民も避難所運営に参加する必要があるが、あなたはどのように具体的な開設がなされると考えているだろうか。そしてあなたは、避難所を運営する訓練をしたことがあるだろうか。あなたとともに逃げてきた、体調が目に見えて悪化してきたおばあさんをどうしたらいいのか。このように避難所は最初から混乱した状態で始まることが予想される。

避難所には開設と運営のポイントがある。まずは建物被害を見て、安全に避難所として使えるかを確認し、開けてから住民をうまく誘導し、みんなで動き出すかが問われる。火災が迫ってきたときには、避難所にいることが安全でない場合もあるが、避難者や運営者は気づいていないこともある。またあなたの子供が発熱してきたようだが、感染者を避難所でみなと一緒にしていると、感染症が拡大する危険性もあるため、動線を分ける必要がある。そして体調不良者や高齢者・障がい者などのいろいろな人々を校舎内のどこに案内したらよいのか、あなたの避難所では、事前に考えてあるだろうか。小学校の先生は生徒のことで手一杯であると思われる。避難所に無事に入れた避難者は、今度は場所取りを始める。水や食料、毛布などの配布はどのように行われるのだろうか。23区の避難所は、もしかすると1000人以上も集まっているかもしれない。いろいろな家族、見知らぬ人が唐突に始める共同生活の場である避難所。あなたの町の準備は万端だろうか。そして、あなた自身はどのように日頃の専門知識を活かして、支援してくださるだろうか。

私たちは文京区とともに避難所開設キットを立案、それを用いて文京区全体の避難所運営協議会（町会役員や学校などから構成）が開設訓練を始めている。次の段階として、人材育成が必要になる。防災士になった方々等に、研修・現場での実習などをして、支援のスキルを高めている。せっかく助かった命を避難所でまた失うこと（災害関連死）をなくすためにも、避難所でまず初期に命を守るためのいろいろな支援が大切であること、それに多くの人々が協力してほしいと思っている。



避難所訓練時の「受付」の様子

あなたにも想定していただきたい。そして専門を活かして、避難所や救援・救護、復旧・復興に貢献してもらいたい。

4

「災害関連死を防ぐ避難所」が絶対に必要である。ドラマでは、けが人が運ばれてきたが、だれが治療するのだろうか。答えは、町によって異なる。災害時の医療はどうなっているだろうか、ちょっと調べてみてほしい。また避難所ではその後、どのようなことが必要になるのだろうか、できれば避難所を勉強してほしい（たとえば文献^(脚注)）。

地震火災の初期消火はどうするのか。人々の避難は。そして生き埋めや安否確認はどうするのか、赤ちゃんなどをつれた家族の避難など、本文で描ききれなかったまだまだたくさんの課題がある。特に首都直下地震では火災の被害が大きい。それらの差し迫った課題解決はまだ途上である。これから都市部の住民自らが参加して、解決していくことが求められている。

文献：

日本女子大学平田研究室：避難所解説読本
 一首都直下地震に備えて事前にお読みください， <https://mcm-www.jwu.ac.jp/~hirata/kenkyuseika/2012hinanjoyodokuhon.html>.



学校法人伊万里学園 敬徳高等学校（佐賀県）

危険物取扱者試験への取り組み

盛田 恭章(もりた やすあき)
敬徳高等学校 実習教諭

1. 学校紹介

本校は1964年（昭和39年）8月に伊万里市近辺の寺院が中心となり、親鸞聖人700回大遠忌記念事業の一貫で伊万里女子高等学校として設立、龍谷総合学園に加盟、1968年（昭和43年）に伊万里学園高等学校に改称され、男女共学となりました。また、1995年（平成7年）に現在の敬徳高等学校に改称され2024年に、学校創立60周年という節目を迎えました。

龍谷総合学園とは、浄土真宗本願寺派の宗門に関係する加盟法人数23学園、加盟教育機関数72校からなる国内最大の学園グループになります。その建学精神は、仏教、特に大乘仏教の精神・親鸞聖人の浄土真宗の教えに基づく、人を育成するという共通目的の基盤をもっています。

敬徳高校の教育の重点目標は第一に宗教的情操の涵養でそれに伴い、「倫理指数日本一をめざして」をスローガンとして掲げています。授業及び特別活動（恒例の宗教行事、一斉朝礼、終礼時の仏参）などを通して、宗教的情操・教養の涵養を図り、人間性の育成に努める。また、本校の教育目的に基づき、奉仕的精神の涵養に努め、福祉教育の推進を図ります。そして本校の校訓は和顔愛語です。和やかな顔、思いやりのある言葉で人に接するという意味です。

県西部地区と呼ばれている伊万里・西松浦地区唯一の私立学校として、これからも地域に根付いた学校として50年・100年後の未来を見すえて、この厳しい少子化の時代を生き抜いてくために教師一丸となって知恵を出し合い頑張ってい

る学校です。

2. 学科コースの特徴

自動車整備科

国土交通省指定の自動車整備士一種養成施設です。整備のプロとして社会にデビューすることを念頭に車の構造・原理から整備技術までをきめ細かく学びます。

（資格検定・講習）三級自動車整備士・危険物取扱者・トレース技能検定・ガス溶接技能講習・計算技術検定・フォークリフト運転技能講習・アーク溶接作業特別教育など

普通科総合進学コース

より高い志望校に合格するため、学力・精神力・集中力を3年間で養うとともに、次世代に通用する常識・良識のある生徒の育成を目指しています。

普通科キャリアコース

各種資格取得と専門性の高いカリキュラムの中で、将来自立し、しっかりとした職業観に基づくキャリア形成、進路選択の力を磨くことを目標にしています。

（資格検定）全商ビジネス文章実務検定・全商情報処理検定・全商簿記実務検定・日情日本語ワープロ検定・日情プレゼンテーション作成検定・日情文書デザイン作成検定・日情ホームページ作成検定・日情情報処理検定など



実習風景



校外実習風景

普通科生活福祉コース

「相手の立場」に立って考える姿勢を身につけ「こころとからだ」の理解を深め、人がひとを支える学習の中で、コミュニケーション能力を高める。

(資格検定・講習) 介護職員初任者研修・社会福祉、介護福祉検定・ビジネス文書実務検定・赤十字ベーシックライフサポーターなど

普通科保育コース

保育者としての必要な知識と技術を習得し、豊かな情操と感性を育て、同じ目標を持った仲間と共に高めあい、保育・幼児教育系の大学・短大への進学も目指します。

(資格検定・講習) 全国高等学校家庭科技術検定(保育技術検定)・ビジネス文書実務検定・和食テーブルマナー講習・救急救命講習など。

3. 危険物取扱者試験受験状況

本校では1年次の11月に丙種、2年次の5月に乙種第4類の取得をベースとし、3年次の11月までに乙種全科目取得を目指しています。5月の試験は部活動生の参加が難しく、この時期に取得したい生徒は6月の試験を受けに他県まで受験に向かう場合も少なくありません。取組みとしては、工業技術基礎や課題研究の一部で危険物取扱者試験の学習を行い、問題を解く力は毎日の課題をクリアしていく事で身につくよう限られた時間の中で工夫しています。特に性質・消火は自動車整備との結びつきも強く、ガソリンや軽油といった身近な物品から知識を取り入れるようにすることで、危険物取扱者試験に対する不安をなくすよう努力しています。1年次から資格を取得する喜びを実感してもらい、自ら率先して資格へ挑戦出来るよう職員間で話し合いと声掛けを大事にしています。

令和以降の本校自動車整備科の生徒の資格取得者数をまとめました。

受験科目 受験年度	乙種 第1類	乙種 第2類	乙種 第3類	乙種 第4類	乙種 第5類	乙種 第6類	丙種
令和元年度	3	6	6	18	4	7	35
令和2年度	11	5	1	12	5	7	33
令和3年度	7	6	5	12	4	8	14
令和4年度	4	6	3	1	5	4	20
令和5年度	1	1	0	4	0	1	9
令和6年度	2	1	1	10	1	2	22

(人)

4. おわりに

最近では、全国的に危険物取扱者試験の受験者数の減少が見られます。原因は定かではありませんが、全国的にガソリンスタンドを個人経営する企業の倒産や廃業も一因にあるのではないかと私は思っています。それに伴い、ガソリンスタンドを経営する企業から、高校生への就職求人も減ってきているのも事実です。そんな中、生徒達も危険物取扱者試験の重要性をあまり高く持たず、危険物取扱者資格＝ガソリンスタンドという認識からか資格試験を敬遠してきているような感じもあります。私たちの学校では、丙種から学習を取り組み、自信をつけさせて受験させ、合格すれば乙種第4類を受験するよう指導にあたっています。この「ものづくり大国」日本では、まだまだ素晴らしい工業製品を作る中小企業から大手企業もたくさん存在し、企業によっては、危険物取扱者資格を十分に活かせる工場の求人も、多数存在します。生徒達にも、求人があるという事を伝えつつ、生徒自身の資格取得意欲を高めて進路指導にあたり、生徒達をバックアップしていきたいと思っています。

合格試験記

甲種危険物取扱者試験への挑戦

1 危険物取扱者試験受験のきっかけ

私が危険物取扱者という資格があることを初めて知ったのは工業高校に入学してからでした。1年生のころに電子機械科の先生から、クラス全体で乙種4類危険物取扱者の試験を受けるかを聞かれてそこで初めて知りました。そこで私は高校でなにか頑張ったことを増やしたかったので試験を受けることを決めました。

2 乙種第4類取得

学校で講習会を開いてくれるということだったので、まずはそこで勉強をしました。前半は法令、物理化学、性質消火の3つの科目の大事なところを一通り学び、後半は模擬問題をひたすら解いていました。講習は放課後に1時間ほどありました。私は講習のある日は遅くまで残って勉強をしていました。

家での勉強はスマホアプリなどを使って勉強したり、繰り返し書いて手で覚えたりしました。また、暗記系は学校の休み時間を使って勉強することで時間を有効に活用するようにしていました。私はこういった資格試験を受けることが初めてだったので勉強の仕方考えるのがとても大変でした。

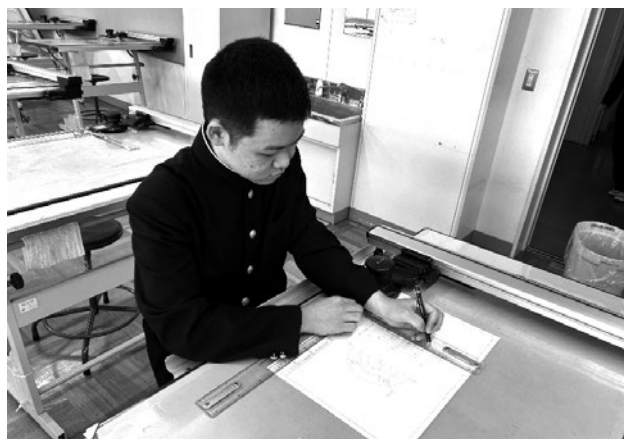
勉強の中で大変だったことは、危険物の名前や引火点などの性状を覚えることです。名前が似たような危



旋盤実習



松田 亘 まつだ わたる
北海道北見工業高等学校
電子機械科 3年



製図実習

険物があってどっちがどっちの性状かわからなくなることもあったので、化学式と一緒に覚えることで記憶できるように工夫しました。覚えることが色々あって大変でしたが過去問によく出題されるものは確実に覚えるようにしました。

試験前日はこのような資格試験が初めてでどんな雰囲気の中で行うのか、その中でしっかり100%の力を発揮できるか色々不安でいっぱいでした。そして試験当日になりました。試験会場までの移動中も参考書を読んでいました。会場に到着してからできるだけ頭に内容を詰め込みました。それから試験が始まり、問題を解き始めました。試験時間にはかなり余裕があったので一問一問しっかり文章を読んで解いていきました。回答が合っているか怪しい問題には印をつけて後回しにし、一通り解き終わった後は2回ほど見直しをして途中退出しました。

試験の結果は合格でした。数日後に結果通知書が届いたので再度合格していることを確認しました。通知書にある正答率の中で一番低かったのが物理化学の70%だったので不合格の可能性も有り得ました。試験でも全くわからない問題が1問あったので、出題されやすい問題を解くのもいいですが出題されにくい問題も何回か解いてみると良いと思いました。

3 乙種全類取得（2年生）

乙種第4類に合格した私は次に全類取得を目指すことにしました。

乙種を持っていれば一度に3種類まで受験することができるので私は一回目に乙種の1類・2類・6類、二回目に乙種の3類・5類を受けることにしました。1類・6類は酸化性物質で似ていて、2類は3類・5類よりもわかりやすそうだったのでこの順番で受けることにしました。さらに乙種を持っていれば性質消火のみの受験となるので、乙種4類の試験よりは簡単でした。

科目が性質消火のみなので主に参考書を読み勉強しました。記憶するためには思い出すことが重要だと思いましたので一回覚えたら時間を置き、もう一度見たときに覚えているかを確認することで記憶を定着させていきました。

試験については試験時間が1つの類ごとに35分で短くなりましたが、範囲が性質消火のみだったので時間には余裕がありました。結果は大体80%以上で合格できましたが、出題されると思っていないようなところが出題されてわからないところもあったので、より細かいところまで覚えたほうがよいと思いました。

4 甲種取得（2年生）

危険物取扱者の乙種を全類取得した後、甲種は難しくて正直受けても合格できないだろうなと思っていたので、試験を受けようか迷っていました。ある時乙種第4類の参考書を読みながら甲種を受けようか考えていたのですが、担任の先生に甲種を受けるのか聞かれて、勢いで受けると言ってしまいました。いつまでも悩んでいると時間ももたないなので、このとき受けるって言ったらよかったと思います。

次の試験日はしばらく後なので、そこに向けて勉強を始めました。甲種の勉強については科の先生から参考書を借りて、主にその参考書を使って勉強しました。他にもインターネットで調べると過去問が出てくるのでそれも利用しました。

甲種は法令が変わらず、物理化学は範囲が広くなり、性質消火は問題数が増えて範囲が広がります。この中でも難しかったのが物理化学です。参考書を見てみると乙種に比べて知らないことが多かったからです。大半が初めて見るような公式や名前がいっぱいでした。初めて知ることが多く、参考書のわからない言葉などをインターネットで調べて勉強したので苦労しました。



マシニングセンタによる切削加工実習

試験当日は、やはり物理化学の問題が難しかったです。予想していなかった問題が出題されて、答えに自信が持てない問題もいくつかありました。できるだけ色々なことを考えて、迷った末に答えを決めました。6割合っていれば合格で4問までなら落としてもよいので、自分の感覚としては不合格もありえるかもしれない、という感覚でとても不安でした。

それから11月を迎え、合格発表の日になりました。その時期は就業体験や検定試験が控えており、色々とお忙しかったのを覚えています。ホームページで受験番号を検索すると、自分の番号を見つけました。このときは学校で見えていて本当に合格したのか信じられなかったもので、何回も確認しました。家に帰宅すると結果通知書が届いており、中を見てみると合格の文字がありました。私はそこでやっと合格したことを実感しました。

5 甲種危険物取扱者を取得してみても

甲種危険物取扱者を取得して一つ思ったことは、難しいと思っていた事でも一生懸命頑張ることで達成できるということです。なのでやる前から難しいと諦めないでとりあえずやってみる。少しやって難しいと思ってもとにかくやってみる。そういうことが大事だと思います。それに、合格することで自分はこれだけのことを頑張ることができるという自信にもなります。

ですが資格試験には多くのお金がかかります。私の場合は試験手数料、収入証紙代、参考書代だけで5万9000円ほどかかっていました。他にも借りた参考書や細かい金額も含めると、6万円以上かかっていると思います。これだけの金額を自分に使ってもらった親にはとても感謝しています。他にも自分の身の回りにいる、力を貸してくれた人たちにもとても感謝しています。

はじめに(埼玉県の概要)

埼玉県は関東平野内部に位置する内陸県で、東西に約103km、南北に約52km、面積はおおよそ3,800km²で、山地面積がおおよそ3分の1、残りの3分の2を平地が占めています。この広さは国土の約100分の1にあたり、全国で39番目の大きさです。

地形は県の最高峰・三宝山(2,483m)をはじめとする2,000m級の山々が西部に連なり、東部に移るにつれて丘陵、台地、低地と次第に低くなっています。

主な河川は秩父山系を源流とする荒川と“坂東太郎”の異名を持つ利根川です。

気候は夏は蒸し暑く、熊谷市では平成30年7月23日に国内観測史上最高気温の41.1度を記録しており、冬は乾燥した北西の季節風が吹く日が多いのが特徴です。風水害は比較的に少なく、全国的に見ても快晴日数が多く暮らしやすい気候です。

人口は令和2年10月の国勢調査によると全国第5位で約734万人、平均年齢は46.8歳です。15歳未満の年少人口割合は全国第23位、15～64歳の生産年齢人口割合は第4位、65歳以上の高齢人口割合は第42位です。

支部の状況

当支部は県庁所在地の浦和駅から徒歩約7分の閑静な住宅街にある「ほまれ会館」という築50年を超える古い建物の2階に入居しています。隣がお寺と公園で県中心部にあるとは思えない緑豊かな環境であり、保育園も隣接していて、毎日元気で賑やかな子供たちの声が私たちの心を癒してくれます。駅や県庁にも近く利便性は良いのですが、住宅街に入り込んでいて場所が分かりにくいので電話で道案内をすることも多く、道も狭いのでなるべく車でのご来所もご遠慮いただいております。

支部職員は支部長と支部職員3名の4名体制で、電話や窓口も全員で対応しています。年間を通して業務に追われていますが、職場の雰囲気も良く全員で協力しあって試験業務・免状業務にあたっています。

試験業務の概要

【危険物取扱者試験の実施状況】

危険物取扱者の一般試験等の申請者数の推移については表1のとおり、コロナ禍の影響で申請者数は令和2年度に落ち込み、令和3年度からは回復してきましたがその後は微減している状況です。試験回数はここ数年、危険物取扱者試験で年8回、消防設備士試験で2回を基本として主に大学を借り

て日曜日に実施しています。大学会場は収容力もあって試験実施には都合は良いのですが、大学の行事等もあり、思うように会場確保の予定が立たないことが悩みです。

以前は特定試験を複数の高等学校でも実施していましたが、コロナ禍をきっかけに休止しております。また、工業系高等学校の統合や私学の普通科転換、生徒減などもあり受験者も減少傾向にあることから、現在では専門学校や農業大学校、消防学校などで年7回程行っています。

表1 危険物取扱者試験受験申請者数の推移 (単位:人)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
甲種	1,230	1,496	1,598	1,355	1,465
乙種	6,463	7,459	7,044	6,940	6,680
うち乙種第4類	4,870	5,841	5,494	5,481	5,113
丙種	477	448	547	367	451
合計	8,170	9,403	9,189	8,662	8,596
うち高校生	599	760	713	619	560
比率(%)	7.3%	8.1%	7.8%	7.1%	6.5%
うち電子申請	4,585	4,821	5,566	5,567	6,586
比率(%)	56.1%	51.3%	60.6%	64.3%	76.6%

【消防設備士試験の実施状況】

消防設備士試験の申請者数の推移は表2のとおり、令和3年度のコロナ禍の影響の反動増以降、減少傾向にあります。

今後も一定程度の受験者数を確保するためには、各試験とも実施回数や会場選定などの工夫をしなければと考えています。

また、それぞれの電子申請の状況は、年々増加傾向にあり令和6年度は危険物取扱者試験で76.6%、消防設備士試験で75.5%と全国平均を大きく上回っています。今後も電子申請者数は増加していくと思われますが、電子化による業務の効率化の一方で氏名等の誤入力や再受験申請の場合の対応など新たな課題解消に努めながら、さらに電子申請率が高まるよう周知徹底していく必要があると思っています。

表2 消防設備士試験受験申請者数の推移 (単位:人)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
甲特	41	43	26	47	32
甲種	941	1,168	1,062	1,052	991
乙種	1,222	1,388	1,326	1,313	1,205
合計	2,204	2,599	2,414	2,412	2,228
うち電子申請	1,004	1,240	1,242	1,340	1,682
比率(%)	45.6%	47.7%	51.4%	55.6%	75.5%

試験監督員の概要

試験監督員は県職員のOBなどを中心に委嘱しており、

令和6年度は延べ558名の方に協力いただいています。試験中は支部長及び総務担当試験監督員が本部に常駐し各試験室と連絡を取りながら不測の事態に備えつつ、試験の公平・公正かつ厳正なる実施に努めています。そのため当支部では毎年5月頃に「試験監督員研修会」を開催し、個々の試験監督員の資質向上を図っています。また、試験実施にあたっての支部への要望などもしっかり受け止めるようにしています。

令和7年5月時点での試験監督員の登録数は65名ですが、今年度も辞退者が数名出るなど、この数年の登録者は減少傾向にあるとともに高齢化が進んでおります。近年の定年延長の影響などで新規で委嘱をお願いできる方が少なくないため、現状では年齢が75歳を超える経験豊富で元気な方にも引き続きお願いしているところです。

今後も現役の試験監督員からの紹介や支部職員の個人的なつながりなど、様々なつてを頼りながら試験監督員の新規確保に努めたいと思います。

○ 免状業務の概要

免状の交付申請者数の推移は表3のとおり、危険物取扱者及び消防設備士ともに減少傾向にあります。近年の受験申請者数の傾向からすると今後も免状交付件数は減少するものと推察しています。

表3 免状の交付件数の推移 (単位：件)

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
危険物取扱者	新 規	3,831	4,379	3,846	3,307	3,229
	本籍等	101	84	88	80	74
	写 真	4,541	4,645	4,627	4,237	3,851
	再交付	215	223	235	225	215
	計	8,688	9,331	8,796	7,849	7,369
消防設備士	新 規	380	890	728	578	280
	本籍等	14	11	13	8	14
	写 真	388	360	366	343	394
	再交付	16	14	16	11	21
	計	798	1,275	1,123	940	709

書換促進にあたっては、毎年4月の終わり頃に10年経過した人を対象に「写真書換のお知らせはがき」で書換を促しており、令和7年度は4,144通発送したところです。その成果が連休明けから問い合わせや書換申請が数多く行われています。また、周知にあたっては県危険物安全協会連合会や県消防設備協会の協力をいただき、講習の際に未了者へ写真書換を呼び掛けるなど書換の促進を図っているところです。

埼玉県では令和5年12月に県収入証紙の販売が終了し、令和6年3月にその使用が廃止されました。それに伴い免状の交付申請等に係る手数料の支払いは、県の「電子申請・届出サービス」でのクレジットカードやPayPay等のコード決済、

ペイジーによる電子納付を原則としました。併せて高齢者やクレジットカードを持たない電子納付が困難な方のために、県消防課が3枚複写式の「納付書」を作成し、当支部や各消防本部に配布しております。年間で数件ですが危険物取扱者試験等の受験願書払込用紙での誤納付が発生しています。

免状の申請受付にあたっての手数料の納付確認は、県消防課から当支部へ電子データで毎日提供されますが、一部にタイムラグが生じ交付までに時間を要してしまう場合があること等が課題です。また、県の収納システムが脆弱なのか、'納付手続きが進まない'との問い合わせが当支部にも日々寄せられています。

今後も県消防課と連携し、手数料の誤納付防止のための注意喚起やスピーディーな免状交付に努めて参りたいと考えています。

○ おわりに

今年度は試験回数を見直し、危険物取扱者試験は一般試験を大学等で9回、特定試験を専門学校等で7回、消防設備士試験は3回予定しています。試験実施回数や会場選定など検討課題もたくさんありますが、今後も受験者数の確保のため、試験業務にあたっては、引き続き、公平・公正かつ厳正な運営と受験しやすい環境づくりに努めてまいります。

また、免状業務についても適正な管理と更新を徹底してまいりたいと考えております。

埼玉県では年間を通して様々なお祭りやイベントが県内各地で開催されています。特に秩父地域では一年に400ものお祭りがあると言われています。「日本三大曳山祭」のひとつである秩父夜祭や熊谷うちわ祭、川越まつりなどには全国各地、さらには外国からも多くの観光客に訪れていただいております。また、県内各地で四季折々の花や紅葉、温泉、ご当地グルメが観光客の皆さんを魅了し、温かくおもてなしております。

令和6年7月に発行された新一万円札の肖像となった「近代日本経済の父」渋沢栄一の生誕の地は埼玉県深谷市です。渋沢翁は埼玉県を代表する偉人の一人で私たちの誇りです。キャッシュレスの時代にあっても皆さんのお財布の中にも渋沢翁が何人か潜んでいるのでは。

令和7年5月には天皇陛下のご臨席を仰ぎ「第75回全国植樹祭」が厳粛のうちにも盛大に開催されました。さらに令和8年11月に「ねんりんピック彩の国さいたま」の開催が予定されています。

毎年大きなイベントが続く活気あふれる埼玉県へ多くの皆さまにお越しいただき、各地域の歴史文化・自然・食や賑わいなど、埼玉の多彩な魅力を是非ともご堪能ください。

業務情報

令和6年度
事業報告及び
決算

事業報告書

第1 概況

1 手数料改定

令和5年12月6日に「地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令」が公布され、これに基づき都道府県の手数料条例が改正され、危険物取扱者試験及び消防設備士試験の試験手数料が令和6年5月1日から次のとおり改定された。

		改定前手数料	改定後手数料
危険物取扱者 試験手数料	甲種	6,600円	7,200円
	乙種	4,600円	5,300円
	丙種	3,700円	4,200円
消防設備士 試験手数料	甲種	5,700円	6,600円
	乙種	3,800円	4,400円

2 試験事業の状況

(1) 危険物取扱者試験

危険物取扱者試験の受験申請者数は357,126人で、令和5年度(355,508人)から1,618人増加(+0.5%)した。

令和6年度は、令和5年度と比較し若干増加することとなった。

(2) 消防設備士試験

消防設備士試験の受験申請者数は116,461人で、令和5年度(113,854人)から2,607人増加(+2.3%)した。

令和6年度は、令和5年度と比較して増加し、令和3年度に次いで過去2番目に多い受験申請者数となった。

(3) 予防技術検定

予防技術検定の受験申請者数は7,510人で、令和5年度(8,130人)から620人減少(△7.6%)した。

3 免状事業の状況

免状業務は、全ての都道府県と受託契約して、免状作成等の事務を行うとともに、39都道府県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行った。

免状作成等の処理件数は、新規免状の作成、免状の書換え(写真書換えを含む)、再交付免状の作成を含めて、危険物取扱者は237,881件で、令和5年度(243,321件)から5,440件減少(△2.2%)し、消防設備士は41,186件で、令和5年度(41,563件)から377件減少(△0.9%)した。

危険物取扱者及び消防設備士ともに3年連続で申請件数が減少してはいるが、いずれも減少率は緩やかになってきている。

なお、免状申請件数の増減は、受験申請者の受験率及び合格率の影響も受けるものである。

第2 個別的事業

1 試験事業

(1) 危険物取扱者試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数 (単位：回)

	甲種	乙種							丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
当年度	395	435	444	469	1027	460	467	3,302	488	4,185
前年度比	△9	△29	+3	△4	△13	△10	△13	△66	△8	△83

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	357,126	316,301	122,102	38.6%
前年度比	+1,618	+386	△840	△0.3ポイント

(2) 消防設備士試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数

① 甲種 (単位：回)

	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	合計
当年度	117	138	126	128	153	124	786
前年度比	+2	△3	△2	△2	+1	△4	△8

② 乙種 (単位：回)

	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	合計
当年度	125	115	119	150	120	163	140	932
前年度比	+1	+1	+3	△3	△4	△3	△1	△6

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	116,461	88,285	29,878	33.8%
前年度比	+2,607	+697	+108	△0.2ポイント

(3) 予防技術検定を令和6年12月1日に全都道府県で、次のとおり実施した。

		受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
防火査察	当年度	3,822	3,630	1,852	51.0%
	前年度比	△317	△273	△53	+2.2ポイント
消防用設備等	当年度	1,975	1,868	1,026	54.9%
	前年度比	△208	△150	+254	+16.6ポイント
危険物	当年度	1,713	1,613	823	51.0%
	前年度比	△95	△97	+14	+3.7ポイント
合計	当年度	7,510	7,111	3,701	52.0%
	前年度比	△620	△520	+215	+6.3ポイント

(4) 電子申請者数は、次のとおりであった。

		電子申請者数(人)	受験申請者数(人)	電子申請率
危険物取扱者	当年度	221,846	357,126	62.1%
	前年度比	+34,048	+1,618	+9.3ポイント
消防設備士	当年度	80,713	116,461	69.3%
	前年度比	+25,985	+2,607	+21.2ポイント
合 計	当年度	302,559	473,587	63.9%
	前年度比	+60,033	+4,225	+12.2ポイント

(5) 過去に出題した試験問題の公開について、令和6年5月24日に「試験問題の公開に係る検討委員会」において審議し、令和6年6月に、ホームページ上で公開している過去の出題問題の追加・更新を行った。

この結果、令和6年度末現在、危険物取扱者試験については180問、消防設備士試験については93問をホームページ上で公開している。

(6) 支部試験実施状況調査を4支部において実施した。

(実施した支部)

群馬県、神奈川県、高知県、佐賀県

2 免状事業

(1) 全都道府県の委託を受け、新規、書換え（写真書換えを含む。）及び再交付免状の作成を行うとともに、免状データベースに登録した。

ア 免状作成等の処理件数

(単位:件)

		新規交付	書換え		再交付	合計
			写真	写真以外		
危険物取扱者	当年度	117,637	108,487	1,839	9,918	237,881
	前年度比	△ 1,288	△ 4,152	+78	△ 78	△ 5,440
消防設備士	当年度	28,034	11,974	350	828	41,186
	前年度比	+31	△ 491	+33	+50	△ 377
合 計	当年度	145,671	120,461	2,189	10,746	279,067
	前年度比	△ 1,257	△ 4,643	+111	△ 28	△ 5,817

※ 書換え（写真以外）については、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請を除いた件数

イ 免状データベースの登録件数の累計は、次のとおりとなった。

	登録件数の累計(件)
危険物取扱者	8,588,193
消防設備士	1,179,984
合 計	9,768,177

(2) 39都道府県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行い、98,458人（危険物取扱者90,382人、消防設備士8,076人）に通知し、19,439人（19.7%）が写真書換えを申請した。

(受託都道府県)

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、静岡県、滋賀県、奈良県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- (3) 全都道府県との覚書により、免状データベースへの講習履歴の収録を次のとおり行った。

	講習履歴の収録件数(件)
危険物取扱者	169,060
消防設備士	80,547
合 計	249,607

3 企画研究事業

- (1) 業務情報システムについて

国の行政手続きの見直し、オンライン化の方針に則り、令和5年度に実施した調査研究事業の結果を踏まえ、次の機能充実に関するシステム改修を行った。

- ア 電子申請率向上に資するため、試験手数料の納付に利用可能なキャッシュレス決済手段を拡大導入する機能拡大改修を行った。
- イ 予防技術検定に係る受験申請、検定実施等に係る事務をシステム化するため、業務情報システムの機能拡大改修を行った。

- (2) 調査研究事業について

令和7年度に予定される業務情報システムのハードウェア更新に併せ、受験申請者の利便性のさらなる充実及び職務能率向上を図るための諸条件の明確化を行った。

また、免状交付申請事務のデジタル化について、規制改革実施計画(令和4年6月7日閣議決定)において、「危険物取扱者免状のデジタル化の実現等を検討し、オンライン化及びオンライン利用率の引上げに向け、可能なものから順次必要な措置を講ずる。」とされていることを踏まえ、引き続き情報収集と検討を行った。

併せて、危険物取扱者の試験制度及び免状制度の実務上の課題について、現下の社会情勢に応じた解決を図るための検討を行った。

- (3) 「受験促進事業」の効果的推進について

令和5年度から定常事業化した「受験促進事業」について、各支部による地域特性分析に基づく方針策定や具体策に関するノウハウ共有、高校教諭向け資料等支援ツールの更新と提供などを継続的に行い、事業の充実と実効を得るための取り組みを継続した。

また、危険物取扱者試験を受験する高校生の確保に努めるため、過去に実施してきた調査研究事業等を精査し、現時点においても有用と考えられる事業を抽出する等、改めて危険物取扱者試験を受験し易い環境づくりについて検討を行った。

- ア 工業高校等対策

令和4年度まで実施したモデル事業で有効性が確認された取組のほか、地域の状況を反映した受験者確保策を講じた。

- 工業高校等教諭との意見交換会を開催するなど、高校における特定試験の促進・個別高校対策を実施した。

- 意見交換会への地元企業（採用担当）の参加を促し、資格取得の有用性を訴えた。

- イ 消防職員、大学、自衛隊対策

特定試験の実施拡大等を中心に、受験者確保策を講じた。

- (4) 資格取得指導等に取り組まれている学校、事業所、指導者等に対する感謝状の贈呈について

危険物取扱者や消防設備士の資格取得に積極的に取り組まれている高等学校、高等専門学校、大学、専修学校及びその指導教諭、事業所及びその資格取得支援担当者等に対して、その尽力をたたえ表彰した。

- (5) 個人情報保護について

個人情報取扱事業者として、個人情報の厳格な取扱い、管理・監督の更なる徹底を図るとともに、業務情報システム及び事務管理システムのセキュリティの確保・向上に努めた。

なお、令和7年1月に発生した消防設備士試験業務における個人情報の漏えい事故を受け、検討委員会を設置して再発防止策を検討し、その結果を報告書として取りまとめた。

- (6) 広報事業について

- ア 資格制度に関する広報

「試験・検定のご案内パンフレット」の他、広報ターゲットを明確にした「大学生及び高校生向け受験促進パンフレット」、「資格試験広報ポスター」、「写真書換え啓発ポスター」を作成

するとともに、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、事業所、都道府県及び消防機関等に配布し資格制度の周知を図った。

また、各種イベントでの広報や消防関係専門誌・教育関連の新聞等に広報記事を掲載することにより、資格取得や免状書換え等の周知を図った。

イ 広報誌「消防試験研究センターだよりVoice.」の発行

危険物施設等に係る災害事故等の防災対策の研究成果や現状、防火防災に関する取組等について経験者や研究者による解説並びに受験合格者による体験談等を掲載し、誌面の充実に努めた。

また、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、事業所、都道府県及び消防機関等に配布するとともに、当センターのホームページにも掲載した。

ウ ホームページの活用と継続的改善

当センターのホームページでは、試験や検定に係る各種情報や電子申請などのオンライン機能のほか、広報資料・情報などを以下のように提供しているところであり、常に情報の鮮度を保つことに加え、利用者の視点に立った機能改善等についても継続的に行っている。

- ① 電子申請機能の提供
- ② 試験実施日程、受験案内等の試験関連情報の提供
- ③ 合格者受験番号の掲示
- ④ 試験実施等に係る緊急情報の掲示
- ⑤ 過去に出題された問題の公開
- ⑥ 免状交付申請、写真書換え等の免状関連情報の提供
- ⑦ その他広報情報等の提供・発信

(7) 統計について

「令和5年度版危険物取扱者・消防設備士 試験・免状統計表」を作成し、消防庁及び都道府県等に配布した。

4 その他事業

(1) 支部監査(実地監査)を10支部で実施し、書面による自己点検方式の監査を36支部で実施した。 (支部監査(実地監査)実施支部)

北海道、秋田県、宮城県、福島県、千葉県、福井県、滋賀県、広島県、山口県、沖縄県

(2) 全国支部長会議を、令和6年4月18日に開催し、令和6年度収支予算や受験申請者数の推移、受験者増に向けた取り組み等について説明した。

また、新任支部長・副支部長研修を、令和6年4月5日・6日に本部及び中央試験センターで開催し、業務内容や支部長等に期待することについて説明した。

秋には対面によるブロック支部長会議を都道府県消防主管課の出席を得て開催し、受験促進事業や予算要求基準等について説明し、各支部から試験の実施状況等の報告を受けて意見交換を行った。

(ブロック支部長会議)

ブロック名	開催地	開催日
北海道・東北	山形県	令和6年 9月19日
関東・甲信越	茨城県	令和6年 9月26日
中部	静岡県	令和6年 10月17日
近畿	滋賀県	令和6年 10月24日
中国・四国	広島県	令和6年 9月17日
九州	沖縄県	令和6年 10月10日

(3) 初任者を対象とした実務担当者研修を、令和6年7月9日・10日に本部及び中央試験センターで実施した。

また、令和6年度は、支部監査(実地監査)に合わせて近隣支部の経理担当者も参加した経理端末操作研修を実施した。

(4) 消防防災推進事業助成事業は、82事業を対象に計画したが、1事業が辞退したため、81事業に対して事業助成を行った。

(5) 創立40周年記念事業として、記念誌「40年のあゆみ」の発行、表彰状の贈呈を行った。

(6) 関係官庁、関係機関及び諸団体との連絡調整を行った。

第3 評議員会及び理事会の開催に関する事項

1 評議員会

第21回評議員会（令和6年6月26日（水）開催）

理事の選任

原田俊一氏

令和5年度事業報告の報告及び令和5年度決算の承認

令和5年度公益目的支出計画実施報告書の報告

2 理事会

(1) 第40回理事会（令和6年6月7日（金）開催）

理事長（代表理事）及び常務理事（業務執行理事）の職務執行状況報告

令和5年度事業報告の承認及び令和5年度決算の決定

令和5年度公益目的支出計画実施報告書の承認

評議員会招集の決定

(2) 第41回理事会（令和7年3月11日（火）開催）

理事長（代表理事）及び常務理事（業務執行理事）の職務執行状況報告

令和7年度事業計画及び令和7年度収支予算の承認

役員等賠償責任保険契約の承認

附属明細書

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年度決算書

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,100,351,170	1,046,979,104	53,372,066
未収金	56,751,957	55,115,854	1,636,103
前払金	19,630,832	19,452,328	178,504
立替金	0	770	△ 770
貯蔵品	19,922,332	18,099,169	1,823,163
流動資産合計	1,196,656,291	1,139,647,225	57,009,066
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	1,030,000,000	1,030,000,000	0
投資有価証券	1,500,000,000	1,500,000,000	0
基本財産合計	2,530,000,000	2,530,000,000	0
(2) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	16,531,580	10,778,060	5,753,520
退職給付引当資産	322,430,283	332,951,655	△ 10,521,372
減価償却引当資産	563,108,621	429,914,461	133,194,160
特定資産合計	902,070,484	773,644,176	128,426,308
(3) その他固定資産			
建物付属設備	1,844,357	2,107,938	△ 263,581
什器備品	35,572,928	31,018,887	4,554,041
ソフトウェア	166,022,932	271,627,788	△ 105,604,856
敷金	20,867,750	20,867,750	0
保証金	30,000	30,000	0
その他固定資産合計	224,337,967	325,652,363	△ 101,314,396
固定資産合計	3,656,408,451	3,629,296,539	27,111,912
資産合計	4,853,064,742	4,768,943,764	84,120,978
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	80,485,832	49,380,095	31,105,737
前受金	18,364,576	72,890,118	△ 54,525,542
預り金	20,823,333	20,703,098	120,235
賞与引当金	65,427,361	60,519,228	4,908,133
流動負債合計	185,101,102	203,492,539	△ 18,391,437
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	16,531,580	10,778,060	5,753,520
退職給付引当金	322,430,283	332,951,655	△ 10,521,372
固定負債合計	338,961,863	343,729,715	△ 4,767,852
負債合計	524,062,965	547,222,254	△ 23,159,289
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	128,500,000	128,500,000	0
指定正味財産合計	128,500,000	128,500,000	0
(うち基本財産への充当額)	(128,500,000)	(128,500,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	4,200,501,777	4,093,221,510	107,280,267
(うち特定資産への充当額)	(2,401,500,000)	(2,401,500,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(563,108,621)	(429,914,461)	(133,194,160)
正味財産合計	4,329,001,777	4,221,721,510	107,280,267
負債及び正味財産合計	4,853,064,742	4,768,943,764	84,120,978

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	11,993,314	23,698,085	△ 11,704,771
特定資産運用益			
特定資産受取利息	513,198	7,086	506,112
受取試験手数料	2,596,634,000	2,253,198,400	343,435,600
危険物取扱者試験手数料	1,909,824,700	1,664,500,500	245,324,200
消防設備士試験手数料	644,002,300	542,356,900	101,645,400
予防技術検定手数料	42,807,000	46,341,000	△ 3,534,000
受取免状受託料	475,821,158	483,352,157	△ 7,530,999
危険物取扱者免状受託料	387,889,231	394,953,335	△ 7,064,104
消防設備士免状受託料	74,643,922	74,648,194	△ 4,272
写真書換促進業務受託料	10,900,060	11,488,523	△ 588,463
免状交付申請用封筒配布等業務受託料	2,387,945	2,262,105	125,840
雑収益	64,790,529	52,450,581	12,339,948
受取利息	687,782	10,290	677,492
証紙等手数料	211,741	203,810	7,931
電子申請払込手数料	62,601,630	50,338,260	12,263,370
免状交付等手数料徴収事務受託料	1,188,000	1,188,000	0
雑収益	101,376	710,221	△ 608,845
経常収益計	3,149,752,199	2,812,706,309	337,045,890
(2) 経常費用			
事業費	2,942,439,981	2,693,933,442	248,506,539
役員報酬	22,992,644	22,827,339	165,305
給料手当	986,803,998	947,222,178	39,581,820
法定福利費	156,303,157	156,764,398	△ 461,241
福利厚生費	17,239,865	16,951,780	288,085
役員退職慰労引当金繰入額	2,924,880	3,154,560	△ 229,680
退職給付費用	52,252,661	40,942,522	11,310,139
賞与引当金繰入額	60,083,740	56,260,023	3,823,717
試験監督員賃金	235,545,335	232,296,561	3,248,774
臨時雇賃金	30,823,384	29,103,269	1,720,115
諸謝金	7,916,851	9,362,973	△ 1,446,122
事務所等賃借料	180,769,031	179,536,033	1,232,998
試験会場賃借料	126,652,620	120,438,698	6,213,922
事業負担金	12,800,000	12,800,000	0
リース料	27,715,142	25,695,715	2,019,427
光熱水料費	15,410,907	14,903,184	507,723
通信運搬費	204,311,347	192,361,794	11,949,553
印刷製本費	168,349,667	155,587,627	12,762,040
委託費	224,446,243	94,306,936	130,139,307
保守管理費	61,236,298	50,382,400	10,853,898
旅費交通費	22,946,127	20,392,751	2,553,376
電子申請試験手数料収納費	47,390,313	51,849,156	△ 4,458,843
消耗品費	57,375,593	56,039,677	1,335,916
会議費	3,203,906	3,929,833	△ 725,927
広告費	10,503,438	13,403,179	△ 2,899,741
消防防災等推進事業助成金	32,260,949	31,714,631	546,318
諸会費	662,305	518,030	144,275
災害保険料	1,242,578	1,314,746	△ 72,168
租税公課	30,540,274	36,172,045	△ 5,631,771
減価償却費	132,433,965	108,642,789	23,791,176
雑費	9,302,763	9,058,615	244,148

業務
情報

information

業務情報

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	100,031,951	92,337,738	7,694,213
役員報酬	21,842,218	21,605,590	236,628
給料手当	34,771,526	28,889,336	5,882,190
法定福利費	6,829,408	6,462,704	366,704
福利厚生費	829,164	874,406	△ 45,242
役員退職慰労引当金繰入額	2,828,640	2,941,300	△ 112,660
退職給付費用	580,212	701,780	△ 121,568
賞与引当金繰入額	5,343,621	4,259,205	1,084,416
諸謝金	1,388,524	1,718,439	△ 329,915
事務所等賃借料	14,102,184	14,102,195	△ 11
リース料	747,276	552,522	194,754
光熱水料費	748,175	771,112	△ 22,937
通信運搬費	957,439	741,568	215,871
印刷製本費	632,637	427,635	205,002
委託費	956,923	1,653,913	△ 696,990
保守管理費	2,639,948	919,848	1,720,100
旅費交通費	386,508	699,023	△ 312,515
消耗品費	668,082	396,469	271,613
会議費	129,145	115,352	13,793
広告費	25,443	15,840	9,603
諸会費	87,805	54,954	32,851
災害保険料	177,308	176,930	378
租税公課	2,060,639	3,820,912	△ 1,760,273
減価償却費	760,195	50,060	710,135
雑費	538,931	386,645	152,286
経常費用計	3,042,471,932	2,786,271,180	256,200,752
評価損益等調整前当期経常増減額	107,280,267	26,435,129	80,845,138
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	107,280,267	26,435,129	80,845,138
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
基本財産投資有価証券償還益			
基本財産投資有価証券償還益	0	77,994,042	△ 77,994,042
経常外収益計	0	77,994,042	△ 77,994,042
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	77,994,042	△ 77,994,042
当期一般正味財産増減額	107,280,267	104,429,171	2,851,096
一般正味財産期首残高	4,093,221,510	3,988,792,339	104,429,171
一般正味財産期末残高	4,200,501,777	4,093,221,510	107,280,267
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	128,500,000	128,500,000	0
指定正味財産期末残高	128,500,000	128,500,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	4,329,001,777	4,221,721,510	107,280,267

令和6年度の試験・検定実施結果について —業務部—

当センターが令和6年度に実施した、危険物取扱者試験、消防設備士試験及び予防技術検定の実施結果は次のとおりです。

1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果の概要

危険物取扱者試験及び消防設備士試験の全国における試験実施回数及び受験申請者等の状況は(表1)のとおりです。

■ 表1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果 (単位：回，人)

年 度	区 分	危険物取扱者試験	消防設備士試験	合 計
令和4年度	試験実施回数	4,285	1,703	5,988
	申請者数	359,120	114,462	473,582
	受験者数	321,632	88,134	409,766
	合格者数	127,765	30,934	158,699
令和5年度	試験実施回数	4,268	1,732	6,000
	申請者数	355,508	113,854	469,362
	受験者数	315,915	87,588	403,503
	合格者数	122,942	29,770	152,712
令和6年度	試験実施回数	4,185	1,718	5,903
	申請者数	357,126	116,461	473,587
	受験者数	316,301	88,285	404,586
	合格者数	122,102	29,878	151,980
対前年度 (R6－R5)	試験実施回数	－ 83	－ 14	－ 97
	申請者数	1,618	2,607	4,225
	受験者数	386	697	1,083
	合格者数	－ 840	108	－ 732

2 危険物取扱者試験の実施状況

(1) 試験実施回数の状況 (表2)

試験実施回数は、4,185回で、前年度の4,268回に比べ83回減少しました。

■ 表2 危険物取扱者試験の実施回数 (単位：回)

年 度	甲 種	乙 種						丙 種	合 計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		
令和4年度	401	471	451	490	1,024	483	484	481	4,285
令和5年度	404	464	441	473	1,040	470	480	496	4,268
令和6年度	395	435	444	469	1,027	460	467	488	4,185
対前年度 (R6－R5)	9	－ 29	3	－ 4	－ 13	－ 10	－ 13	－ 8	－ 83

(2) 種類別受験申請者数の状況（表3）

受験申請者数は 357,126 人と、前年度に比べ 1,618 人の増加となり、乙種第 1 類及び丙種が減少となった以外は、他の全ての種類の申請者に増加傾向が見られます。

乙種第 4 類は、ガソリン、灯油、重油等の一般的な危険物の取扱い等に必要な資格であることから、種類別受験申請者数ではその数が 256,812 人（全体の 71.9%）と最も多くなっています。

■ 表3 危険物取扱者試験の種類別受験申請者数の状況

（単位：人，%）

年 度	区 分	甲 種	乙 種						丙 種	合 計
			第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類		
令和 4 年度	申請者数	26,085	9,952	9,955	12,041	252,899	12,443	12,192	23,553	359,120
	構成割合	7.3	2.8	2.8	3.4	70.4	3.5	3.4	6.6	100.0
令和 5 年度	申請者数	24,719	9,187	9,334	11,267	255,763	11,601	11,110	22,527	355,508
	構成割合	7.0	2.6	2.6	3.2	71.9	3.3	3.1	6.3	100.0
令和 6 年度	申請者数	25,218	8,717	9,829	11,432	256,812	11,810	11,246	22,062	357,126
	構成割合	7.1	2.4	2.8	3.2	71.9	3.3	3.1	6.2	100.0
対前年度 (R6 - R5)		499	- 470	495	165	1,049	209	136	- 465	1,618

(3) 種類別合格率の状況（表4）

全体の合格率は 38.6%であり、前年度と比較すると、0.3 ポイントの減少でした。

種類ごとの合格率を見ると、甲種が 35.2%、乙種第 4 類が 31.7%と、例年同様他の種類と比較して低い値となっています。

■ 表4 危険物取扱者試験の種類別受験者数・合格者数・合格率

（単位：人，%）

年 度	区 分	甲 種	乙 種						丙 種	合 計
			第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類		
令和 4 年度	受験者数	22,278	9,498	9,579	11,555	223,009	11,930	11,739	22,044	321,632
	合格者数	8,196	6,596	6,601	8,217	70,211	8,476	8,216	11,252	127,765
	合 格 率	36.8	69.4	68.9	71.1	31.5	71.0	70.0	51.0	39.7
令和 5 年度	受験者数	20,963	8,737	8,951	10,763	223,797	11,027	10,635	21,042	315,915
	合格者数	6,652	6,114	5,977	7,444	71,670	7,538	7,359	10,188	122,942
	合 格 率	31.7	70.0	66.8	69.2	32.0	68.4	69.2	48.4	38.9
令和 6 年度	受験者数	21,257	8,247	9,411	10,896	223,846	11,211	10,746	20,687	316,301
	合格者数	7,484	5,492	6,310	7,221	71,023	7,153	7,220	10,199	122,102
	合 格 率	35.2	66.6	67.0	66.3	31.7	63.8	67.2	49.3	38.6

(4) 職業別受験状況（表5-1、表5-2）

受験申請者の職業別構成（表5-1）を見ると、高校生が最も多く全体の 20.5%を占めておりますが、前年度と比較すると高校生の受験申請者数は 4,265 人の減少、その構成割合も 1.3 ポイントの減少でした（前年度は 77,458 人 21.8%）。また、高校生の甲種受験申請者は 621 人（前年度 706 人）でした。

平成 26 年度、令和元年度と比較（表5-2）すると高校生の受験申請者が、その人数、割合ともに大きく減少していることや、ガソリンスタンド従業員の受験申請者数が減少傾向にあることがわかります。

■ 表5-1 令和6年度危険物取扱者試験の職業別受験状況 (単位：人，%)

職業等	区分	甲種	乙種						丙種	合計	申請者の 構成割合
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類			
高校生	申請者数	621	2,278	2,026	2,410	46,174	2,314	3,174	14,196	73,193	20.5
	受験者数	597	2,259	2,003	2,383	44,386	2,280	3,144	13,620	70,672	
	合格者数	118	1,273	1,182	1,294	8,052	1,217	1,675	5,714	20,525	
	合格率	19.8	56.4	59.0	54.3	18.1	53.4	53.3	42.0	29.0	
高校以外の 学生、教育・ 研究機関	申請者数	4,189	314	286	509	15,075	480	474	761	22,088	6.2
	受験者数	3,734	286	267	488	13,167	454	445	706	19,547	
	合格者数	1,412	190	189	345	5,441	288	315	427	8,607	
	合格率	37.8	66.4	70.8	70.7	41.3	63.4	70.8	60.5	44.0	
ガソリン スタンド	申請者数	107	53	44	57	18,051	58	54	761	19,185	5.4
	受験者数	90	46	41	53	15,553	49	50	701	16,583	
	合格者数	22	28	25	36	3,338	30	36	302	3,817	
	合格率	24.4	60.9	61.0	67.9	21.5	61.2	72.0	43.1	23.0	
化学工業	申請者数	7,471	775	1,325	969	15,178	1,647	843	50	28,258	7.9
	受験者数	6,425	735	1,261	922	13,323	1,560	806	38	25,070	
	合格者数	2,417	468	765	582	3,773	904	541	27	9,477	
	合格率	37.6	63.7	60.7	63.1	28.3	57.9	67.1	71.1	37.8	
危険物の 卸売業、 小売業	申請者数	205	121	159	138	8,463	142	141	545	9,914	2.8
	受験者数	154	111	151	129	7,063	129	127	480	8,344	
	合格者数	45.0	70.0	114.0	87.0	2120.0	89.0	89.0	287.0	2901.0	
	合格率	29.2	63.1	75.5	67.4	30.0	69.0	70.1	59.8	34.8	
危険物の 運送業	申請者数	118	186	245	235	3,996	226	253	631	5,890	1.6
	受験者数	87	167	232	220	3,286	204	227	535	4,958	
	合格者数	27	121	144	137	890	139	165	311	1,934	
	合格率	31.0	72.5	62.1	62.3	27.1	68.1	72.7	58.1	39.0	
危険物を扱う その他の事業	申請者数	5,086	1,409	2,219	1,946	58,006	2,037	1,719	1,430	73,852	20.7
	受験者数	4,261	1,314	2,106	1,844	50,653	1,911	1,628	1,288	65,005	
	合格者数	1,573	897	1,373	1,230	15,811	1,254	1,138	811	24,087	
	合格率	36.9	68.3	65.2	66.7	31.2	65.6	69.9	63.0	37.1	
公務員	申請者数	1,266	782	802	1,217	14,794	1,081	991	391	21,324	6.0
	受験者数	1,072	742	769	1,150	13,042	1,027	960	363	19,125	
	合格者数	355	539	605	857	6,432	706	746	318	10,558	
	合格率	33.1	72.6	78.7	74.5	49.3	68.7	77.7	87.6	55.2	
警備業	申請者数	79	52	43	59	1,489	60	53	55	1,890	0.5
	受験者数	64	45	41	54	1,202	56	48	46	1,556	
	合格者数	17	36	34	43	382	42	39	31	624	
	合格率	26.6	80.0	82.9	79.6	31.8	75.0	81.3	67.4	40.1	
ビル管理業	申請者数	333	149	139	224	5,334	202	201	55	6,637	1.9
	受験者数	242	129	132	207	4,004	180	182	50	5,126	
	合格者数	64	97	107	147	1,587	129	143	39	2,313	
	合格率	26.4	75.2	81.1	71.0	39.6	71.7	78.6	78.0	45.1	
その他	申請者数	5,476	2,515	2,455	3,542	67,436	3,418	3,206	2,951	90,999	25.5
	受験者数	4,296	2,331	2,323	3,322	55,635	3,220	2,997	2,644	76,768	
	合格者数	1,360	1,706	1,720	2,380	22,634	2,266	2,251	1,827	36,144	
	合格率	31.7	73.2	74.0	71.6	40.7	70.4	75.1	69.1	47.1	
未入力	申請者数	267	83	86	126	2,816	145	137	236	3,896	1.1
	受験者数	235	82	85	124	2,532	141	132	216	3,547	
	合格者数	74	67	52	83	563	89	82	105	1,115	
	合格率	31.5	81.7	61.2	66.9	22.2	63.1	62.1	48.6	31.4	
合計	申請者数	25,218	8,717	9,829	11,432	256,812	11,810	11,246	22,062	357,126	100
	受験者数	21,257	8,247	9,411	10,896	223,846	11,211	10,746	20,687	316,301	
	合格者数	7,484	5,492	6,310	7,221	71,023	7,153	7,220	10,199	122,102	
	合格率	35.2	66.6	67.0	66.3	31.7	63.8	67.2	49.3	38.6	

■ 表5-2 危険物取扱者試験の職業別受験申請者数の推移 (単位：人，%)

年度	区分	高校生	高校生 以外	ガソリン スタンド	化学工業	危険物 卸・小売	危険物の 運送業	危険物を扱う その他の事業	公務員	警備業	ビル管理業	その他	未入力	合計
平成26年度	申請者数	165,207	30,091	27,259	25,339	9,618	6,090	73,853	20,895			86,953	9,907	455,212
	構成割合	36.3	6.6	6.0	5.6	2.1	1.3	16.2	4.6	0.0	0.0	19.1	2.2	100
平成31年度	申請者数	110,581	22,495	19,204	25,070	8,475	5,830	70,745	17,180			77,324	6,482	363,386
	構成割合	30.4	6.2	5.3	6.9	2.3	1.6	19.5	4.7	0.0	0.0	21.3	1.8	100
令和6年度	申請者数	73,193	22,088	19,185	28,258	9,914	5,890	73,852	21,324	1,890	6,637	90,999	3,896	357,126
	構成割合	20.5	6.2	5.4	7.9	2.8	1.6	20.7	6.0	0.5	1.9	25.5	1.1	100

(5) 年代別受験状況（表6）

高校生の受験申請者が多数を占めることから、20代の受験申請者が26.7%と高い値となっています。年代別構成割合は、今後、少子高齢化の影響により、その割合が変化していくことが予想されます。

合格率を年代別に見ると、全体的には60代までは年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■ 表6 令和6年度危険物取扱者試験の年代別受験状況

(単位：人，%)

年代	区 分	甲 種	乙 種						丙 種	合 計	申請者の 構成割合
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類			
20代 未満	申請者数	963	2,500	2,299	2,764	61,176	2,669	3,496	15,005	90,872	25.4
	受験者数	922	2,473	2,264	2,724	57,848	2,625	3,459	14,371	86,686	
	合格者数	223	1,411	1,345	1,499	11,835	1,419	1,876	6,147	25,755	
	合 格 率	24.2	57.1	59.4	55.0	20.5	54.1	54.2	42.8	29.7	
20代	申請者数	12,135	1,521	1,915	2,251	71,353	2,321	1,893	1,879	95,268	26.7
	受験者数	10,718	1,404	1,817	2,125	60,771	2,168	1,762	1,696	82,461	
	合格者数	4,450	931	1,211	1,409	21,580	1,345	1,213	994	33,133	
	合 格 率	41.5	66.3	66.6	66.3	35.5	62.0	68.8	58.6	40.2	
30代	申請者数	5,416	1,634	1,961	2,262	47,080	2,474	2,008	1,476	64,311	18.0
	受験者数	4,336	1,488	1,850	2,113	39,885	2,313	1,870	1,304	55,159	
	合格者数	1,409	1,049	1,266	1,544	14,006	1,605	1,379	858	23,116	
	合 格 率	32.5	70.5	68.4	73.1	35.1	69.4	73.7	65.8	41.9	
40代	申請者数	3,428	1,442	1,829	2,055	39,732	2,165	1,874	1,712	54,237	15.2
	受験者数	2,666	1,358	1,737	1,942	33,595	2,046	1,769	1,530	46,643	
	合格者数	776	976	1,255	1,382	11,201	1,409	1,336	1,019	19,354	
	合 格 率	29.1	71.9	72.3	71.2	33.3	68.9	75.5	66.6	41.5	
50代	申請者数	2,551	1,289	1,500	1,678	28,146	1,760	1,569	1,399	39,892	11.2
	受験者数	2,015	1,210	1,428	1,588	23,808	1,662	1,493	1,257	34,461	
	合格者数	475	890	1,004	1,095	8,871	1,104	1,124	823	15,386	
	合 格 率	23.6	73.6	70.3	69.0	37.3	66.4	75.3	65.5	44.6	
60代	申請者数	654	291	288	371	8,328	363	362	520	11,177	3.1
	受験者数	541	275	280	356	7,099	341	350	470	9,712	
	合格者数	140	209	207	254	3,220	236	261	319	4,846	
	合 格 率	25.9	76.0	73.9	71.3	45.4	69.2	74.6	67.9	49.9	
70代 以上	申請者数	71	40	37	51	997	58	44	71	1,369	0.4
	受験者数	59	39	35	48	840	56	43	59	1,179	
	合格者数	11	26	22	38	310	35	31	39	512	
	合 格 率	18.6	66.7	62.9	79.2	36.9	62.5	72.1	66.1	43.4	
合計	申請者数	25,218	8,717	9,829	11,432	256,812	11,810	11,246	22,062	357,126	100
	受験者数	21,257	8,247	9,411	10,896	223,846	11,211	10,746	20,687	316,301	
	合格者数	7,484	5,492	6,310	7,221	71,023	7,153	7,220	10,199	122,102	
	合 格 率	35.2	66.6	67.0	66.3	31.7	63.8	67.2	49.3	38.6	

3 消防設備士試験の実施状況

(1) 試験実施回数の状況（表7）

試験実施回数は、1,718回で前年度の1,732回に比べ14回減少しました。

■ 表7 消防設備士試験の実施回数

(単位：回)

年 度	甲 種							乙 種							合 計	
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小計
令和4年度	114	135	128	130	151	126	784	123	112	116	146	125	162	135	919	1,703
令和5年度	115	141	128	130	152	128	794	124	114	116	153	124	166	141	938	1,732
令和6年度	117	138	126	128	153	124	786	125	115	119	150	120	163	140	932	1,718
対前年度 (R6-R5)	2	-3	-2	-2	1	-4	-8	1	1	3	-3	-4	-3	-1	-6	-14

(2) 種別受験申請者数の状況 (表8)

受験申請者数は116,461人であり、前年度の113,854人に比べ2,607人の増加となりました。

■ 表8 消防設備士試験の種別受験申請者数の状況 (単位: 人, %)

年 度	区 分	甲 種							乙 種							合 計	
		特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小計
令和 4年度	申請者数	1,391	15,728	4,637	5,068	26,568	4,719	58,111	2,747	827	1,335	11,147	1,378	32,151	6,766	56,351	114,462
	構成割合	1.2	13.7	4.1	4.4	23.2	4.1	50.8	2.4	0.7	1.2	9.7	1.2	28.1	5.9	49.2	100.0
令和 5年度	申請者数	1,387	16,083	4,986	5,033	25,669	4,585	57,743	2,708	803	1,382	10,942	1,491	32,327	6,458	56,111	113,854
	構成割合	1.2	14.1	4.4	4.4	22.5	4.0	50.7	2.4	0.7	1.2	9.6	1.3	28.4	5.7	49.3	100.0
令和 6年度	申請者数	1,301	17,079	5,012	5,185	27,120	4,692	60,389	2,700	909	1,414	10,032	1,458	33,393	6,166	56,072	116,461
	構成割合	1.1	14.7	4.3	4.5	23.3	4.0	51.9	2.3	0.8	1.2	8.6	1.3	28.7	5.3	48.1	100.0
対前年度(R6－R5)		－86	996	26	152	1,451	107	2,646	－8	106	32	－910	－33	1,066	－292	－39	2,607

(3) 種別合格率の状況 (表9)

全体の合格率は33.8%であり、前年度と比較すると、0.2ポイントの減少でした。

■ 表9 消防設備士試験の種別合格率 (単位: 人, %)

年 度	区 分	甲 種							乙 種							合 計	
		特類	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	小計	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	第 7 類		小計
令和 4年度	受験者数	1,165	11,482	3,636	3,923	19,899	3,746	43,851	2,114	691	1,135	8,449	1,112	25,023	5,759	44,283	88,134
	合格者数	338	2,719	1,034	1,197	6,848	1,315	13,451	601	237	328	2,773	407	9,712	3,425	17,483	30,934
	合 格 率	29.0	23.7	28.4	30.5	34.4	35.1	30.7	28.4	34.3	28.9	32.8	36.6	38.8	59.5	39.5	35.1
令和 5年度	受験者数	1,125	11,721	3,865	3,910	19,205	3,581	43,407	2,137	679	1,144	8,384	1,232	25,136	5,469	44,181	87,588
	合格者数	325	2,619	1,170	1,012	6,210	1,240	12,576	602	175	253	2,882	415	9,567	3,300	17,194	29,770
	合 格 率	28.9	22.3	30.3	25.9	32.3	34.6	29.0	28.2	25.8	22.1	34.4	33.7	38.1	60.3	38.9	34.0
令和 6年度	受験者数	1,079	12,086	3,890	4,080	19,767	3,681	44,583	2,161	761	1,193	7,448	1,166	25,835	5,138	43,702	88,285
	合格者数	377	2,914	1,061	1,045	6,715	1,288	13,400	669	200	282	2,323	374	9,345	3,285	16,478	29,878
	合 格 率	34.9	24.1	27.3	25.6	34.0	35.0	30.1	31.0	26.3	23.6	31.2	32.1	36.2	63.9	37.7	33.8

(4) 筆記試験、実技試験の合格者数の状況 (表10)

消防設備士試験には、筆記試験と実技試験の2つの試験がありますが、筆記試験の合格率は54.2%でした。筆記試験合格者のうち実技試験にも合格した者の全受験者に対する割合（最終合格率）は33.8%でした。

■ 表10 令和6年度消防設備士試験の筆記試験、実技試験の合格者数の状況 (単位: 人, %)

年 度	区 分	甲 種							乙 種							合 計	
		特類	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	小計	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	第 7 類		小計
申請者数		1,301	17,079	5,012	5,185	27,120	4,692	60,389	2,700	909	1,414	10,032	1,458	33,393	6,166	56,072	116,461
受験者数		1,079	12,086	3,890	4,080	19,767	3,681	44,583	2,161	761	1,193	7,448	1,166	25,835	5,138	43,702	88,285
筆記	合格者数	377	5,424	2,239	2,453	10,006	2,080	22,579	1,084	365	617	3,988	615	14,961	3,612	25,242	47,821
	合 格 率	34.9	44.9	57.6	60.1	50.6	56.5	50.6	50.2	48.0	51.7	53.5	52.7	57.9	70.3	57.8	54.2
実技	合格者数	0	2,914	1,061	1,045	6,715	1,288	13,023	669	200	282	2,323	368	9,336	834	14,012	27,035
	合 格 率	0.0	24.1	27.3	25.6	34.0	35.0	29.2	31.0	26.3	23.6	31.2	31.6	36.1	16.2	32.1	30.6
最終	合格者数	377	2,914	1,061	1,045	6,715	1,288	13,400	669	200	282	2,323	374	9,345	3,285	16,478	29,878
	合 格 率	34.9	24.1	27.3	25.6	34.0	35.0	30.1	31.0	26.3	23.6	31.2	32.1	36.2	63.9	37.7	33.8

(5) 職業別受験状況 (表11-1、表11-2)

受験申請者の職業のうち、最も多い職業は消防設備業であり、電気工事業、ビル管理業、管工事業がこれに次いで多くの割合を占めています。この傾向はほぼ例年どおりであり、これらの職業の従事者が全体の過半数を占めています。

職業別受験申請者数の推移 (表11-2) については、ここ数年その構成割合に大きな変化は認められません。

■ 表 11 - 1 令和6年度消防設備士試験の職業別受験状況

(単位：人，%)

職業等	区 分	甲 種							乙 種							合 計	申請者の 構成割合
		特 類	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	小 計	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	第 7 類	小 計	
学 生	申請者数	1	81	11	12	687	22	814	48	5	9	463	12	640	419	1,596	2.1
	受験者数	1	73	10	10	600	20	714	41	4	5	386	7	524	387	1,354	
	合格者数	1	26	5	5	189	10	236	6	0	0	101	2	189	180	478	
	合 格 率	100.0	35.6	50.0	50.0	31.5	50.0	33.1	14.6	0.0	0.0	26.2	28.6	36.1	46.5	35.3	
消防 設備業	申請者数	600	4,268	2,304	2,568	5,256	2,145	17,141	278	113	194	701	192	6,639	929	9,046	22.5
	受験者数	505	3,091	1,745	1,980	4,058	1,633	13,012	216	96	161	531	148	5,222	746	7,120	
	合格者数	168	634	398	397	1,137	413	3,147	52	21	42	147	35	1,296	439	2,032	
	合 格 率	33.3	20.5	22.8	20.1	28.0	25.3	24.2	24.1	21.9	26.1	27.7	23.6	24.8	58.8	28.5	
電気 工事業	申請者数	68	769	157	298	8,998	341	10,631	71	21	66	831	69	2,124	1,148	4,330	12.8
	受験者数	58	558	126	235	6,351	260	7,588	57	19	52	575	56	1,557	916	3,232	
	合格者数	17	141	46	49	1,562	73	1,888	18	2	10	127	16	497	519	1,189	
	合 格 率	29.3	25.3	36.5	20.9	24.6	28.1	24.9	31.6	10.5	19.2	22.1	28.6	31.9	56.7	36.8	
管工事業	申請者数	56	6,309	688	448	837	170	8,508	250	29	17	155	21	1,269	149	1,890	8.9
	受験者数	47	4,186	493	326	538	129	5,719	179	19	15	96	17	906	116	1,348	
	合格者数	12	605	96	94	164	47	1,018	35	3	6	28	9	316	64	461	
	合 格 率	25.5	14.5	19.5	28.8	30.5	36.4	17.8	19.6	15.8	40.0	29.2	52.9	34.9	55.2	34.2	
建築業	申請者数	44	1,661	276	232	2,186	255	4,654	125	16	35	454	64	1,541	265	2,500	6.1
	受験者数	37	1,115	214	178	1,383	191	3,118	89	13	23	287	50	1,099	213	1,774	
	合格者数	6	304	52	46	507	80	995	21	3	7	66	13	396	128	634	
	合 格 率	16.2	27.3	24.3	25.8	36.7	41.9	31.9	23.6	23.1	30.4	23.0	26.0	36.0	60.1	35.7	
ビル 管理業	申請者数	149	1,002	445	460	2,665	473	5,194	370	151	169	1,478	251	3,516	803	6,738	10.2
	受験者数	120	720	359	384	1,849	380	3,812	276	113	132	1,023	195	2,481	678	4,898	
	合格者数	50	291	108	122	763	158	1,492	96	37	40	330	60	913	487	1,963	
	合 格 率	41.7	40.4	30.1	31.8	41.3	41.6	39.1	34.8	32.7	30.3	32.3	30.8	36.8	71.8	40.1	
ビル 整備業	申請者数	1	42	6	14	81	15	159	15	4	4	67	11	178	37	316	0.4
	受験者数	1	33	3	11	60	12	120	12	4	2	49	10	138	32	247	
	合格者数	1	6	1	3	29	3	43	5	0	0	17	2	37	19	80	
	合 格 率	100.0	18.2	33.3	27.3	48.3	25.0	35.8	41.7	0.0	0.0	34.7	20.0	26.8	59.4	32.4	
公務員	申請者数	118	618	258	252	1,068	313	2,627	229	59	93	675	166	2,250	441	3,913	5.6
	受験者数	99	526	223	212	885	269	2,214	188	54	81	535	137	1,840	395	3,230	
	合格者数	45	265	97	88	534	164	1,193	87	27	22	228	64	911	303	1,642	
	合 格 率	45.5	50.4	43.5	41.5	60.3	61.0	53.9	46.3	50.0	27.2	42.6	46.7	49.5	76.7	50.8	
その他	申請者数	258	2,242	851	872	5,172	942	10,337	1,296	505	820	5,137	663	15,011	1,933	25,365	30.7
	受験者数	206	1,729	704	717	3,915	775	8,046	1,088	435	716	3,904	538	11,877	1,617	20,175	
	合格者数	77	631	253	236	1,803	337	3,337	346	107	155	1,268	172	4,754	1,127	7,929	
	合 格 率	37.4	36.5	35.9	32.9	46.1	43.5	41.5	31.8	24.6	21.6	32.5	32.0	40.0	69.7	39.3	
未入力	申請者数	6	87	16	29	170	16	324	18	6	7	71	9	225	42	378	0.6
	受験者数	5	55	13	27	128	12	240	15	4	6	62	8	191	38	324	
	合格者数	0	11	5	5	27	3	51	3	0	0	11	1	36	19	70	
	合 格 率	0.0	20.0	38.5	18.5	21.1	25.0	21.3	20.0	0.0	0.0	17.7	12.5	18.8	50.0	21.6	
合 計	申請者数	1,301	17,079	5,012	5,185	27,120	4,692	60,389	2,700	909	1,414	10,032	1,458	33,393	6,166	56,072	100.0
	受験者数	1,079	12,086	3,890	4,080	19,767	3,681	44,583	2,161	761	1,193	7,448	1,166	25,835	5,138	43,702	
	合格者数	377	2,914	1,061	1,045	6,715	1,288	13,400	669	200	282	2,323	374	9,345	3,285	16,478	
	合 格 率	34.9	24.1	27.3	25.6	34.0	35.0	30.1	31.0	26.3	23.6	31.2	32.1	36.2	63.9	37.7	

■ 表 11 - 2 消防設備士試験の職業別受験申請者数の推移

(単位：人，%)

年 度	区 分	学 生	消防 設備業	電気 工事業	管工事業	建築業	ビル 管理業	ビル 整備業	公務員	その他	未入力	合計
平成26年度	申請者数	4,680	20,148	13,803	8,472	5,629	12,005	447	6,219	31,075	1,746	104,224
	構成割合	4.5	19.3	13.2	8.1	5.4	11.5	0.4	6.0	29.8	1.7	100.0
令和元年度	申請者数	3,532	21,546	13,128	8,428	5,189	11,958	434	5,151	29,349	1,163	99,878
	構成割合	3.5	21.6	13.1	8.4	5.2	12.0	0.4	5.2	29.4	1.2	100.0
令和6年度	申請者数	2,410	26,187	14,961	10,398	7,154	11,932	475	6,540	35,702	702	116,461
	構成割合	2.1	22.5	12.8	8.9	6.1	10.2	0.4	5.6	30.7	0.6	100.0

(6) 年代別受験状況（表12）

年代別に見た場合、20代未満の受験申請者割合は1.7%であり、危険物取扱者試験のように、20代未満の受験申請者が特に多いということはありません。30代の割合が最も多く27.3%を占め、40代、20代がこれに続きます。

年代別合格率は、危険物取扱者試験と同じく、全体的には60代までは概ね年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■ 表12 令和6年度消防設備士試験の年代別受験状況

（単位：人，％）

年代	区分	甲 種							乙 種							合計	申請者の構成割合
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	小計	
20代未満	申請者数	0	102	9	9	607	10	737	35	6	2	231	4	629	364	1,271	1.7
	受験者数	0	79	6	8	536	8	637	28	6	1	199	3	525	344	1,106	
	合格者数	0	9	2	2	106	4	123	5	0	0	27	0	95	156	283	
	合格率	—	11.4	33.3	25.0	19.8	50.0	19.3	17.9	0.0	0.0	13.6	0.0	18.1	45.3	25.6	
20代	申請者数	55	4,669	830	759	7,752	552	14,617	513	90	199	1,910	152	8,376	1,108	12,348	23.2
	受験者数	48	3,223	615	590	5,626	432	10,534	379	74	163	1,361	122	6,505	854	9,458	
	合格者数	17	708	155	132	1,764	146	2,922	102	17	39	379	36	2,039	494	3,106	
	合格率	35.4	22.0	25.2	22.4	31.4	33.8	27.7	26.9	23.0	23.9	27.8	29.5	31.3	57.8	32.8	
30代	申請者数	272	5,283	1,488	1,602	7,655	1,363	17,663	641	194	380	2,253	292	8,909	1,479	14,148	27.3
	受験者数	216	3,586	1,109	1,253	5,380	1,039	12,583	512	154	323	1,577	225	6,845	1,192	10,828	
	合格者数	104	881	309	348	1,910	370	3,922	156	50	79	520	78	2,561	803	4,247	
	合格率	48.1	24.6	27.9	27.8	35.5	35.6	31.2	30.5	32.5	24.5	33.0	34.7	37.4	67.4	39.2	
40代	申請者数	447	3,885	1,414	1,416	6,015	1,508	14,685	683	230	360	2,348	406	7,881	1,583	13,491	24.2
	受験者数	371	2,824	1,129	1,103	4,389	1,179	10,995	548	183	305	1,710	314	6,020	1,338	10,418	
	合格者数	131	699	297	290	1,542	386	3,345	184	38	55	569	100	2,332	900	4,178	
	合格率	35.3	24.8	26.3	26.3	35.1	32.7	30.4	33.6	20.8	18.0	33.3	31.8	38.7	67.3	40.1	
50代	申請者数	380	2,558	931	1,061	4,029	973	9,932	609	278	332	2,332	398	5,840	1,246	11,035	18.0
	受験者数	322	1,905	751	835	2,977	776	7,566	496	246	276	1,827	319	4,517	1,075	8,756	
	合格者数	97	491	225	213	1,051	292	2,369	161	61	68	566	102	1,736	704	3,398	
	合格率	30.1	25.8	30.0	25.5	35.3	37.6	31.3	32.5	24.8	24.6	31.0	32.0	38.4	65.5	38.8	
60代	申請者数	127	490	288	311	930	257	2,403	186	90	124	887	177	1,587	352	3,403	5.0
	受験者数	105	399	239	267	749	222	1,981	165	80	109	715	155	1,289	307	2,820	
	合格者数	23	112	64	54	305	83	641	54	29	34	248	51	537	211	1,164	
	合格率	21.9	28.1	26.8	20.2	40.7	37.4	32.4	32.7	36.3	31.2	34.7	32.9	41.7	68.7	41.3	
70代以上	申請者数	20	92	52	27	132	29	352	33	21	17	71	29	171	34	376	0.6
	受験者数	17	70	41	24	110	25	287	33	18	16	59	28	134	28	316	
	合格者数	5	14	9	6	37	7	78	7	5	7	14	7	45	17	102	
	合格率	29.4	20.0	22.0	25.0	33.6	28.0	27.2	21.2	27.8	43.8	23.7	25.0	33.6	60.7	32.3	
合計	申請者数	1,301	17,079	5,012	5,185	27,120	4,692	60,389	2,700	909	1,414	10,032	1,458	33,393	6,166	56,072	100.0
	受験者数	1,079	12,086	3,890	4,080	19,767	3,681	44,583	2,161	761	1,193	7,448	1,166	25,835	5,138	43,702	
	合格者数	377	2,914	1,061	1,045	6,715	1,288	13,400	669	200	282	2,323	374	9,345	3,285	16,478	
	合格率	34.9	24.1	27.3	25.6	34.0	35.0	30.1	31.0	26.3	23.6	31.2	32.1	36.2	63.9	37.7	

4 予防技術検定の実施状況（表13）

予防技術検定は、予防技術資格者制度の発足に伴い、平成17年度から各年度1回ずつ全国一斉に実施しています。受験申請者数は7,510人と、前年度と比べ620人減少しました。

■ 表13 予防技術検定の実施状況

（単位：人，％）

実施回	年度	区分	防火査察	消防用設備等	危険物	合計
第19回	令和5年度	申請者	4,139	2,183	1,808	8,130
		受験者	3,903	2,018	1,710	7,631
		合格者	1,905	772	809	3,486
		合格率	48.8	38.3	47.3	45.7
第20回	令和6年度	申請者	3,822	1,975	1,713	7,510
		受験者	3,630	1,868	1,613	7,111
		合格者	1,852	1,026	823	3,701
		合格率	51.0	54.9	51.0	52.0

令和 6 年度の免状作成等の状況について

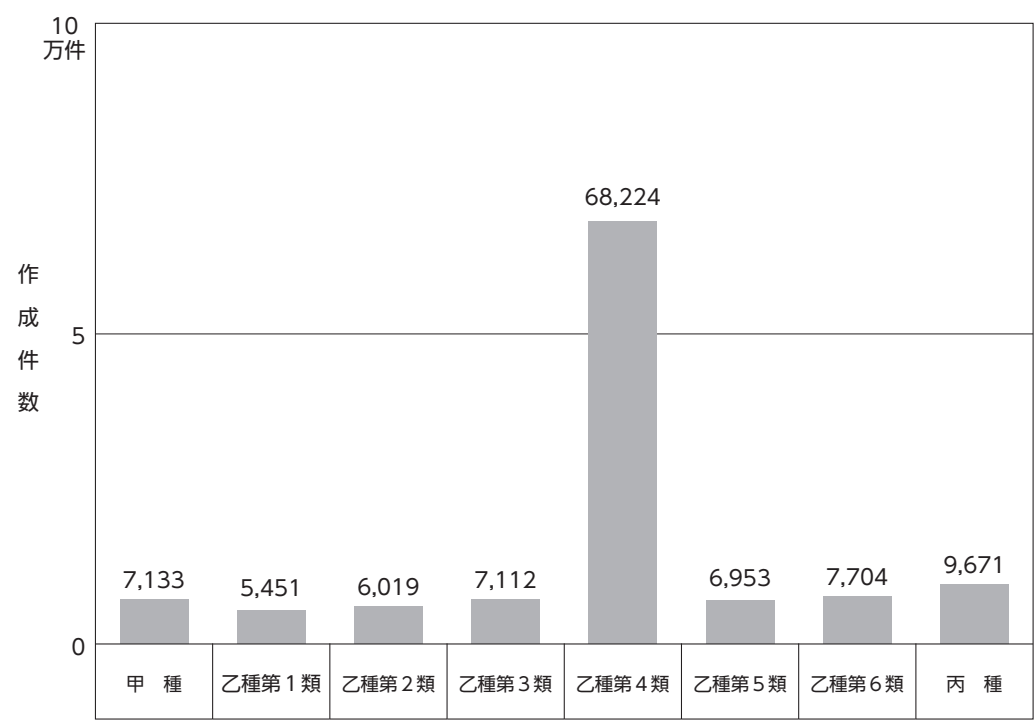
当センターが、令和 6 年度に都道府県から受託して作成した免状等の状況は、次のとおりです。

1 新規免状作成状況

(1) 危険物取扱者（図 1、表 1）

危険物取扱者の新規免状作成件数は、117,637 件で、前年度と比べて 1.1% 減少しました。

■ 図 1 令和 6 年度 危険物取扱者新規免状作成件数



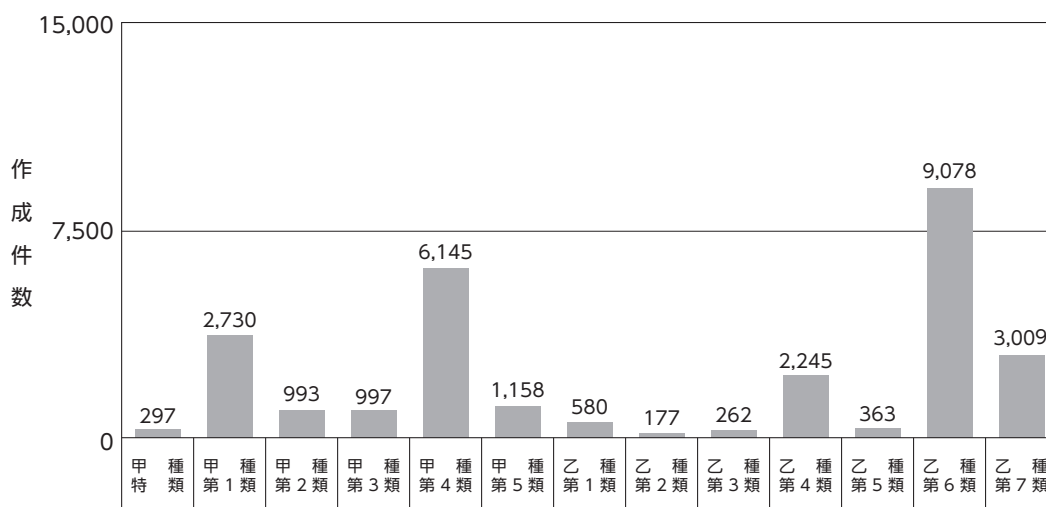
■ 表 1 危険物取扱者新規免状の新規作成状況

年 度	甲 種	乙 種						丙 種	合 計
		第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類		
令和 4 年度	8,475	6,788	6,873	8,402	70,725	8,575	8,518	10,204	128,560
令和 5 年度	6,673	5,882	5,858	7,204	69,264	7,441	7,140	9,463	118,925
令和 6 年度	7,133	5,451	6,019	7,112	68,224	6,953	7,074	9,671	117,637
増減率 (R6 - R5)	6.9	- 7.3	2.7	- 1.3	- 1.5	- 6.6	- 0.9	2.2	- 1.1

(2) 消防設備士（図2、表2）

消防設備士の新規免状作成件数は、28,034 件で前年度と比べて 0.1 % 増加しています。

■ 図2 令和6年度 消防設備士新規免状作成件数



■ 表2 消防設備士新規免状の新規作成状況

年 度	甲 種						乙 種							合 計
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	
令和4年度	342	2,798	1,118	1,257	6,763	1,405	611	246	350	2,780	415	9,633	3,504	31,222
令和5年度	297	2,467	1,051	913	6,122	1,133	559	183	268	2,654	389	8,881	3,086	28,003
令和6年度	297	2,730	993	997	6,145	1,158	580	177	262	2,245	363	9,078	3,009	28,034
増減率 (R6-R5)	0	10.7	-5.5	9.2	0.4	2.2	3.8	-3.3	-2.2	-15.4	-6.7	2.2	-2.5	0.1

2 免状処理状況の推移

昭和63年度から令和6年度までの免状処理状況の推移は、図3、図4、表3及び表4のとおりです。また、平成27年以降10年間の推移をみると次のとおりです。

(1) 新規

ア 危険物取扱者は、14 万件台から 15 万件台で推移しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年度は 11 万件台と大きく減少しました。

令和3年度は、153,021 件と大幅に増加しましたが、以後は減少し、令和6年度は 117,637 件と令和2年度に次ぐ低い数字となりました。

イ 消防設備士は 2 万 4 千件台から 2 万 8 千件台で推移していましたが、令和3年度は 35,439 件、続く令和4年度も 31,222 件と 2 年連続して 3 万件台となり、統計を始めた昭和63年度から初の 3 万件台で最高値を記録しました。以後は概ね例年の件数に戻り、令和6年度は 28,034 件で令和5年度と同じく 2 万 8 千件台となっています。

(2) 写真書換え

ア 危険物取扱者は、10 万件台から 11 万件台で推移しています。令和3年度には 118,857 件と最近 10 年間で最高値となりましたが、令和4年度には減少に転じ、令和6年度は 108,487 件と前年度と比較して 3.7% 減少しています。

イ 消防設備士は 1 万 1 千件台から 1 万 3 千件台で推移しています。令和6年度は 11,974 件となっています。

(3) 本籍等の書換え

ア 危険物取扱者は、平成 25 年度から新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を表示しています。約 1 千 6 百件台から 1 千 9 百件台で推移しています。

令和 6 年度は 1,839 件と前年度と比較すると 4.4%の増加となっています。

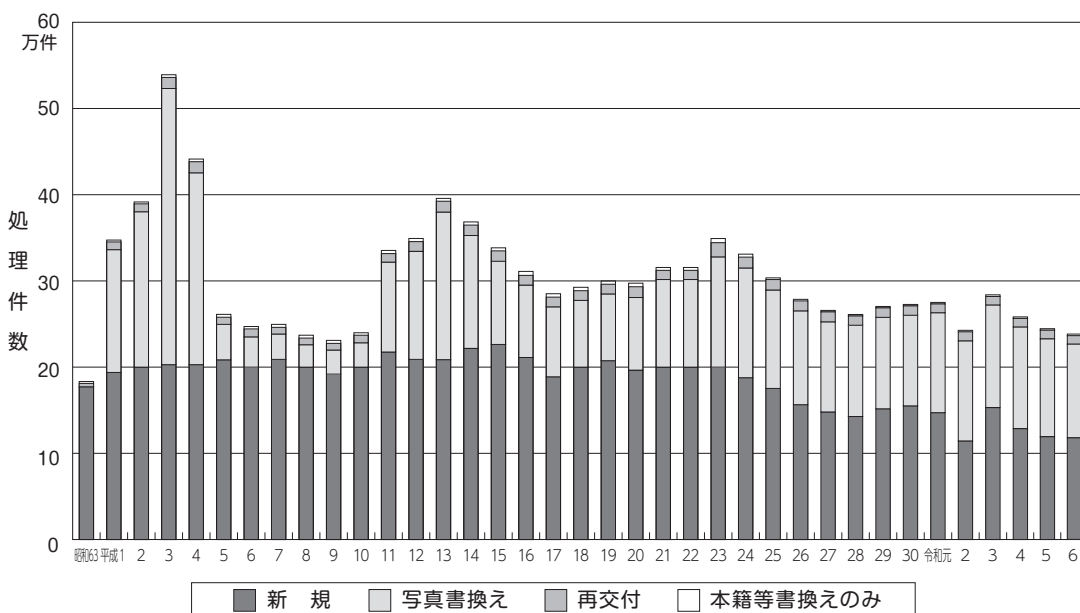
イ 消防設備士も危険物取扱者と同様に平成 25 年度から新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を表示しています。令和 6 年度は 350 件と前年度と比較すると 10.4%の増加となっています。

(4) 再交付

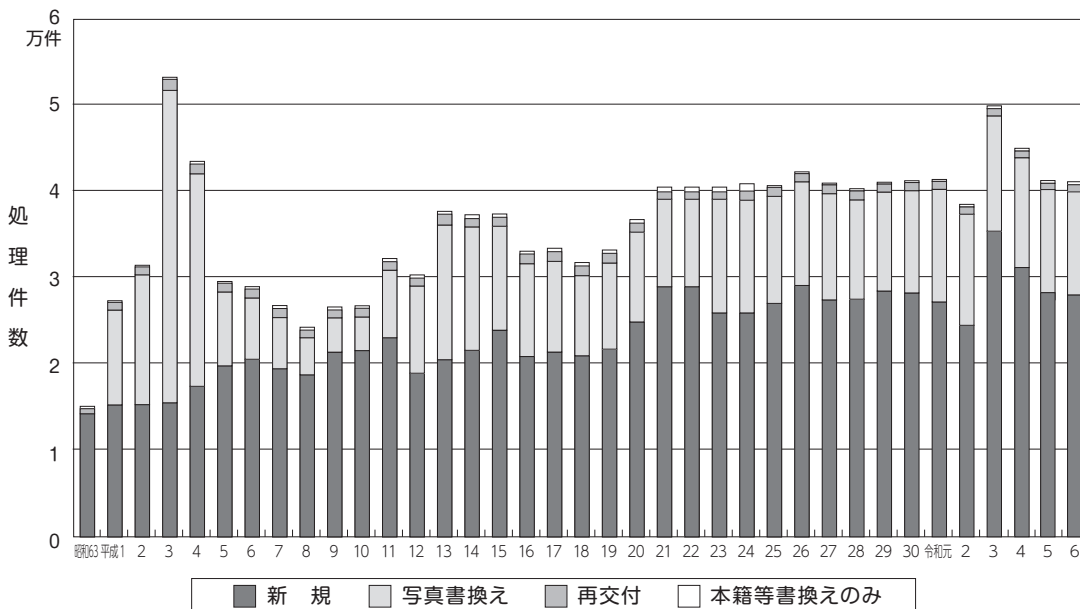
ア 危険物取扱者は、1 万件台から 1 万千件台で推移していましたが、令和 5 年度から 1 万件台を割り込み、令和 6 年度は 9,918 件と前年度と比較して 0.8%の減少となっています。

イ 消防設備士は 9 百件前後で推移しています。令和 6 年度は 828 件と前年度と比較すると 6.4%の増加となっています。

■ 図 3 危険物取扱者の免状処理状況の推移グラフ



■ 図 4 消防設備士の免状処理状況の推移グラフ



■ 表 3 危険物取扱者免状処理状況の推移

年 度	合 計		免 状 作 成 件 数								本籍等の 書 換 え	
		対前年 増減率		対前年 増減率	新 規	対前年 増減率	写真書換え	対前年 増減率	再交付	対前年 増減率		対前年 増減率
昭和 63 年度	182,519	—	180,838	—	177,566	—	—	—	3,272	—	1,681	—
平成 1 年度	346,876	90.0%	345,648	91.1%	194,564	9.6%	143,422	—	7,662	134.2%	1,228	− 26.9%
平成 2 年度	391,648	12.9%	390,165	12.9%	199,375	2.5%	181,642	26.6%	9,148	19.4%	1,483	20.8%
平成 3 年度	539,433	37.7%	537,231	37.7%	202,844	1.7%	321,056	76.8%	13,331	45.7%	2,202	48.5%
平成 4 年度	440,831	− 18.3%	438,636	− 18.4%	202,975	0.1%	223,087	− 30.5%	12,574	− 5.7%	2,195	− 0.3%
平成 5 年度	262,788	− 40.4%	260,787	− 40.5%	208,727	2.8%	44,325	− 80.1%	7,735	− 38.5%	2,001	− 8.8%
平成 6 年度	248,916	− 5.3%	246,614	− 5.4%	201,848	− 3.3%	36,504	− 17.6%	8,262	6.8%	2,302	15.0%
平成 7 年度	251,749	1.1%	249,179	1.0%	211,299	4.7%	29,927	− 18.0%	7,953	− 3.7%	2,570	11.6%
平成 8 年度	239,407	− 4.9%	236,524	− 5.1%	202,421	− 4.2%	26,280	− 12.2%	7,823	− 1.6%	2,883	12.2%
平成 9 年度	232,704	− 2.8%	229,664	− 2.9%	194,220	− 4.1%	27,355	4.1%	8,089	3.4%	3,040	5.4%
平成 10 年度	241,814	3.9%	238,753	4.0%	203,114	4.6%	27,086	− 1.0%	8,553	5.7%	3,061	0.7%
平成 11 年度	336,025	39.0%	332,893	39.4%	220,497	8.6%	102,647	279.0%	9,749	14.0%	3,132	2.3%
平成 12 年度	350,831	4.4%	347,739	4.5%	211,281	− 4.2%	125,622	22.4%	10,836	11.1%	3,092	− 1.3%
平成 13 年度	394,582	12.5%	391,442	12.6%	209,542	− 0.8%	169,911	35.3%	11,989	10.6%	3,140	1.6%
平成 14 年度	370,008	− 6.2%	366,897	− 6.3%	222,496	6.2%	132,005	− 22.3%	12,396	3.4%	3,111	− 0.9%
平成 15 年度	339,491	− 8.2%	336,370	− 8.3%	227,288	2.2%	96,983	− 26.5%	12,099	− 2.4%	3,121	0.3%
平成 16 年度	331,034	− 8.4%	308,000	− 8.4%	212,220	− 6.6%	84,159	− 13.2%	11,621	− 4.0%	3,034	− 2.8%
平成 17 年度	284,975	− 8.4%	281,941	− 8.5%	189,455	− 10.7%	80,987	− 3.8%	11,499	− 1.0%	3,034	0.0%
平成 18 年度	292,603	2.7%	289,406	2.6%	200,093	5.6%	77,283	− 4.6%	12,030	4.6%	3,197	5.4%
平成 19 年度	300,211	2.6%	296,952	2.6%	207,754	3.8%	77,283	0.0%	11,915	− 1.0%	3,259	1.9%
平成 20 年度	297,098	− 1.0%	293,815	− 1.1%	196,075	− 5.6%	84,923	9.9%	12,817	7.6%	3,283	0.7%
平成 21 年度	321,663	8.3%	318,486	8.4%	199,816	1.9%	106,110	24.9%	12,560	− 2.0%	3,177	− 3.2%
平成 22 年度	322,723	0.3%	319,375	0.3%	192,459	− 3.7%	114,549	8.0%	12,367	− 1.5%	3,348	5.4%
平成 23 年度	353,617	9.6%	350,030	9.6%	197,942	2.8%	137,460	20.0%	14,628	18.3%	3,587	7.1%
平成 24 年度	331,084	− 6.4%	327,660	− 6.4%	187,758	− 5.1%	127,300	− 7.4%	12,602	− 13.9%	3,424	− 4.5%
平成 25 年度	303,580	− 8.3%	301,616	− 7.9%	175,299	− 6.6%	114,195	− 10.3%	12,122	− 3.8%	1,964	− 42.6%
平成 26 年度	278,640	− 8.2%	276,871	− 8.2%	156,466	− 10.7%	108,828	− 4.7%	11,577	− 4.5%	1,769	− 9.9%
平成 27 年度	265,757	− 4.6%	264,031	− 4.6%	147,966	− 5.4%	104,558	− 3.9%	11,507	− 0.6%	1,726	− 2.4%
平成 28 年度	258,059	− 2.9%	256,330	− 3.0%	142,716	− 3.5%	102,883	− 1.6%	10,731	− 6.7%	1,729	0.2%
平成 29 年度	267,738	3.8%	266,087	3.8%	151,668	6.3%	103,434	0.5%	10,985	2.4%	1,651	− 4.5%
平成 30 年度	272,564	1.8%	270,900	1.8%	155,061	2.2%	104,995	1.5%	10,844	− 1.3%	1,664	0.8%
令和元年度	275,948	1.2%	274,171	1.2%	147,187	− 5.1%	115,922	10.4%	11,062	2.0%	1,777	6.8%
令和 2 年度	242,686	− 12.1%	240,969	1.2%	114,386	− 22.3%	116,128	0.2%	10,455	− 5.5%	1,717	− 3.4%
令和 3 年度	283,873	17.0%	281,961	33.8%	153,021	33.8%	118,857	2.3%	10,083	− 3.6%	1,912	11.4%
令和 4 年度	258,264	− 9.0%	256,510	− 9.0%	128,560	− 16.0%	117,817	− 0.9%	10,133	0.5%	1,754	− 8.3%
令和 5 年度	243,321	− 5.8%	241,560	− 5.8%	118,925	− 7.5%	112,639	− 4.4%	9,996	− 1.4%	1,761	0.4%
令和 6 年度	237,881	− 2.2%	236,042	− 2.3%	117,637	− 1.1%	108,487	− 3.7%	9,918	− 0.8%	1,839	4.4%

注)平成25年度以降の本籍等の書換えは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数

■ 表 4 消防設備士免状処理状況の推移

年 度	合 計		免 状 作 成 件 数								本籍等の 書 換 え	
		対前年 増減率		対前年 増減率	新 規	対前年 増減率	写真書換え	対前年 増減率	再交付	対前年 増減率		対前年 増減率
昭和 63 年度	14,988	—	14,753	—	14,218	—	—	—	535	—	235	—
平成 1 年度	27,231	81.7%	27,092	83.6%	15,232	7.1%	11,062	—	798	49.2%	139	− 40.9%
平成 2 年度	31,299	14.9%	31,179	15.1%	15,246	0.1%	15,031	35.9%	902	13.0%	120	− 13.7%
平成 3 年度	53,267	70.2%	53,088	70.3%	15,439	1.3%	36,435	142.4%	1,214	34.6%	179	49.2%
平成 4 年度	43,398	− 18.5%	43,196	− 18.6%	17,386	12.6%	24,585	− 32.5%	1,225	0.9%	202	12.8%
平成 5 年度	29,578	− 31.8%	29,403	− 31.9%	19,734	13.5%	8,716	− 64.5%	953	− 22.2%	175	− 13.4%
平成 6 年度	28,994	− 2.0%	28,760	− 2.2%	20,632	4.6%	7,054	− 19.1%	1,074	12.7%	234	33.7%
平成 7 年度	26,691	− 7.9%	26,464	− 8.0%	19,479	− 5.6%	5,910	− 16.2%	1,075	0.1%	227	− 3.0%
平成 8 年度	24,274	− 9.1%	23,971	− 9.4%	18,728	− 3.9%	4,276	− 27.6%	967	− 10.0%	303	33.5%
平成 9 年度	26,576	9.5%	26,297	9.7%	21,295	13.7%	4,043	− 5.4%	959	− 0.8%	279	− 7.9%
平成 10 年度	26,691	0.4%	26,394	0.4%	21,567	1.3%	3,877	− 4.1%	950	− 0.9%	297	6.5%
平成 11 年度	32,256	20.8%	31,920	20.9%	23,105	7.1%	7,819	101.7%	996	4.8%	336	13.1%
平成 12 年度	30,402	− 5.7%	30,107	− 5.7%	18,881	− 18.3%	10,192	30.3%	1,034	3.8%	295	− 12.2%
平成 13 年度	37,655	23.9%	37,359	24.1%	20,539	8.8%	15,610	53.2%	1,210	17.0%	296	0.3%
平成 14 年度	37,288	− 1.0%	36,947	− 1.1%	21,629	5.3%	14,224	− 8.9%	1,094	− 9.6%	341	15.2%
平成 15 年度	37,387	0.3%	37,053	0.3%	23,877	10.4%	12,038	− 15.4%	1,138	4.0%	334	− 2.1%
平成 16 年度	33,025	− 11.7%	32,733	− 11.7%	20,753	− 13.1%	10,823	− 10.1%	1,157	1.7%	292	− 12.6%
平成 17 年度	33,345	1.0%	33,030	0.9%	21,297	2.6%	10,607	− 2.0%	1,126	− 2.7%	315	7.9%
平成 18 年度	31,656	− 5.1%	31,325	− 5.2%	20,905	− 1.8%	9,314	− 12.2%	1,106	− 1.8%	331	5.1%
平成 19 年度	33,142	4.7%	32,854	4.9%	21,705	3.8%	10,029	7.7%	1,120	1.3%	288	− 13.0%
平成 20 年度	36,659	10.6%	36,369	10.7%	24,790	14.2%	10,527	5.0%	1,052	− 6.1%	290	0.7%
平成 21 年度	40,390	10.2%	40,064	10.2%	28,458	14.8%	10,548	0.2%	1,058	0.6%	326	12.4%
平成 22 年度	40,379	0.0%	40,079	0.0%	27,444	− 3.6%	11,557	9.6%	1,078	1.9%	300	− 8.0%
平成 23 年度	40,214	− 0.4%	39,885	− 0.5%	25,586	− 6.8%	13,080	13.2%	1,219	13.1%	329	9.7%
平成 24 年度	40,941	1.8%	40,662	1.9%	26,531	3.7%	13,067	− 0.1%	1,064	− 12.7%	279	− 15.2%
平成 25 年度	40,723	− 0.5%	40,525	− 0.3%	27,066	2.0%	12,412	− 5.0%	1,047	− 1.6%	198	− 29.0%
平成 26 年度	42,319	3.9%	42,112	3.9%	29,145	7.7%	12,021	− 3.2%	946	− 9.6%	207	9.0%
平成 27 年度	41,011	− 3.1%	40,802	− 3.1%	27,470	− 5.7%	12,317	2.5%	1,015	7.3%	209	1.0%
平成 28 年度	40,365	− 1.6%	40,102	− 1.7%	27,552	0.3%	11,517	− 6.5%	1,033	1.8%	263	25.8%
平成 29 年度	41,107	1.8%	40,897	2.0%	28,500	3.4%	11,476	− 0.4%	921	− 10.8%	210	− 20.2%
平成 30 年度	41,278	0.4%	41,066	0.4%	28,268	− 0.8%	11,857	3.3%	941	2.2%	212	1.0%
令和元年度	41,437	0.4%	41,214	3.6%	27,234	− 3.7%	13,059	10.1%	921	− 2.1%	223	5.2%
令和 2 年度	38,548	− 7.0%	38,244	− 7.2%	24,524	− 10.0%	12,884	− 1.3%	836	− 9.2%	304	36.3%
令和 3 年度	49,970	29.6%	49,642	29.8%	35,439	44.5%	13,367	3.7%	836	0.0%	328	7.1%
令和 4 年度	45,049	− 9.8%	44,728	− 9.9%	31,222	− 11.9%	12,714	− 4.9%	792	− 5.3%	321	− 2.1%
令和 5 年度	41,563	− 7.7%	41,246	− 7.8%	28,003	− 10.3%	12,465	− 2.0%	778	− 1.8%	317	− 1.2%
令和 6 年度	41,186	− 0.9%	40,836	− 1.0%	28,034	0.1%	11,974	− 3.9%	828	6.4%	350	10.4%

注)平成25年度以降の本籍等の書換えは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数

チャレンジ!乙種危険物取扱者(第5回)

— 練習問題と解説 —

問 題

法令上、次の危険物を貯蔵する場合、指定数量の倍数が最も大きくなるのはどれか。

- | | |
|-----------|---------|
| (1) 二硫化炭素 | 100 L |
| (2) ガソリン | 300 L |
| (3) 軽油 | 3,000 L |
| (4) 重油 | 4,000 L |
| (5) ギヤー油 | 6,000 L |

解 答

正解(3) 軽油の指定数量は1,000 Lであり、倍数は3倍で最大となります。
二硫化炭素は2倍、ガソリンは1.5倍、重油は2倍、ギヤー油は1倍です。

解 説

本問は、「指定数量」について問う問題です。それぞれの指定数量及び倍数は以下のとおりとなります。

- | | | | |
|-----------|--------------|---------|------|
| (1) 二硫化炭素 | : 特殊引火物 | 50 L | 2倍 |
| (2) ガソリン | : 第1石油類 非水溶性 | 200 L | 1.5倍 |
| (3) 軽油 | : 第2石油類 水溶性 | 1,000 L | 3倍 |
| (4) 重油 | : 第3石油類 非水溶性 | 2,000 L | 2倍 |
| (5) ギヤー油 | : 第4石油類 | 6,000 L | 1倍 |

※ 本解説は、解答についてのポイントを示すのを目的としたものであり、実際の試験問題との関連は一切ありません。
また、当センターにおいては本解説を含め問題・解答に関する質問や考え方等についてのお問い合わせは原則お受けしておりません。



お知らせ

◆令和7年度予防技術検定のご案内

令和7年7月1日公示

業務部

令和7年度の予防技術検定について、以下のとおり実施します。

1 申込み期間

(受付開始日)

(締切日)

令和7年7月8日(火) から同年8月31日(日) まで

- ・ 受付開始日の午前9時00分から締切日の23時59分までとなります。
- ・ 上記期間は24時間申請可。ただし、システムメンテナンスのため毎週土曜日午前3時から同5時までは申請不可

2 申請方法

- ・ 当センターホームページからの電子申請のみとなります。個人又は所属組織等団体での申請が可能です。また本年度から書面申請は廃止となりましたので、ご注意ください。
- ・ 受検手数料は、6,600円となります。

3 検定実施日

令和7年12月7日(日)

4 その他注意事項

- ・ 検定実施日と同日に実施する危険物取扱者試験及び消防設備士試験を受験することはできません。
- ・ 初めて受検される方は、受検資格証明書を必ず添付(詳しくは電子申請のホームページをご覧ください)してください。
- ・ 受検者の写真については、受験票をご自身でダウンロード及び印刷し、規定の大きさの写真を貼付のうえ、受検会場にご持参ください。

5 予防技術検定とは

消防本部及び消防署等には、建築物の大規模化・複雑化等に伴い高度化・専門化する予防業務を的確に行うため、火災の予防に関する高度な知識及び技術を有する「予防技術資格者」を配置することとされています。予防技術資格者になるためには、予防技術検定に合格する必要があります。

申請先及び詳しい検定内容については、当センターホームページをご覧ください。

(申請受付は、当センター本部にて行っております。)

一般財団法人 消防試験研究センター(予防技術検定)URL : <https://www.shoubo-shiken.or.jp/yobou/>

電話 : 050-3803-9279・9298

業務報告

4月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率
甲種	438	172	39.3%
乙種第1類	309	233	75.4%
乙種第2類	351	248	70.7%
乙種第3類	398	298	74.9%
乙種第4類	5,682	2,368	41.7%
乙種第5類	424	286	67.5%
乙種第6類	416	305	73.3%
乙種計	7,580	3,738	49.3%
丙種	215	154	71.6%
合計	8,233	4,064	49.4%

□危険物取扱者試験実施支部等
岩手、群馬、東京、石川、愛知、大阪

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率
甲種特類	38	15	39.5%
甲種第1類	377	133	35.3%
甲種第2類	142	52	36.6%
甲種第3類	143	14	9.8%
甲種第4類	0	0	—
甲種第5類	134	65	48.5%
甲種計	834	279	33.5%
乙種第1類	0	0	—
乙種第2類	0	0	—
乙種第3類	0	0	—
乙種第4類	0	0	—
乙種第5類	0	0	—
乙種第6類	628	242	38.5%
乙種第7類	0	0	—
乙種計	628	242	38.5%
合計	1,462	521	35.6%

□消防設備士試験実施支部等
東京

4月中の免状作成状況

(単位: 件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	11,506	11,506	4,028	4,028	15,534	15,534
本籍等の書換え	124	124	25	25	149	149
写真書換え	8,506	8,506	1,063	1,063	9,569	9,569
再交付	920	920	55	55	975	975
計	21,056	21,056	5,171	5,171	26,227	26,227

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

5月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率
甲種	605	194	32.1%
乙種第1類	136	90	66.2%
乙種第2類	142	93	65.5%
乙種第3類	215	137	63.7%
乙種第4類	6,132	2,151	35.1%
乙種第5類	197	136	69%
乙種第6類	198	143	72.2%
乙種計	7,020	2,750	39.2%
丙種	389	222	57.1%
合計	8,014	3,166	39.5%

□危険物取扱者試験実施支部等

北海道、秋田、山形、福島、千葉、東京、石川、滋賀、京都、奈良、佐賀

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率
甲種特類	33	13	39.4%
甲種第1類	461	127	27.5%
甲種第2類	140	49	35%
甲種第3類	168	67	39.9%
甲種第4類	1,655	652	39.4%
甲種第5類	166	68	41%
甲種計	2,623	976	37.2%
乙種第1類	56	19	33.9%
乙種第2類	35	11	31.4%
乙種第3類	86	15	17.4%
乙種第4類	595	205	34.5%
乙種第5類	40	17	42.5%
乙種第6類	1,052	409	38.9%
乙種第7類	523	341	65.2%
乙種計	2,387	1,017	42.6%
合計	5,010	1,993	39.8%

□消防設備士試験実施支部等

北海道、山形、東京、石川、愛知、徳島

5月中の免状作成状況

(単位: 件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	4,446	15,952	2,558	6,586	7,004	22,538
本籍等の書換え	145	269	25	50	170	319
写真書換え	8,789	17,295	895	1,958	9,684	19,253
再交付	786	1,706	58	113	844	1,819
計	14,166	35,222	3,536	8,707	17,702	43,929

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

危険物取扱者試験日程（願書受付が8・9月にかかる日程分を抜粋）
※試験日など変更になることがありますので、ホームページ等で確認して下さい。

支部等名	試験日			受付期間		甲種	乙種						丙種	受験地・ 注意事項※
	月	日	曜日	開始日	締切日		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		
北海道	9月 7日	日		7月 28日	8月 4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	札幌市外1箇所
	9月 7日	日		7月 28日	8月 4日		乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	倶知安町外2箇所
	10月19日	日		9月 4日	9月11日		乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	小樽市外4箇所
	10月19日	日		9月 4日	9月11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	旭川市外3箇所
	11月16日	日		9月29日	10月 6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	札幌市外2箇所
青森	11月16日	日		9月29日	10月 6日		乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	滝川市外4箇所
	11月 1日	土		9月24日	10月 1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	青森市外1箇所
	11月 8日	土		9月24日	10月 1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	弘前市外1箇所
	11月 9日	日		9月24日	10月 1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	五所川原市
	11月15日	土		9月24日	10月 1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	青森市外2箇所
岩手	10月 4日	土		8月19日	8月26日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	花巻市外3箇所
	10月11日	土		8月19日	8月26日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	盛岡市外2箇所
	10月18日	土		8月19日	8月26日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
宮城	11月16日	日		9月29日	10月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	仙台市
秋田	10月 5日	日		8月15日	8月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	大館市外2箇所、注意事項あり
	10月12日	日		8月22日	9月 5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	秋田市、注意事項あり
	10月13日	月・祝		8月22日	9月 5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	大仙市、注意事項あり
山形	10月11日	土		8月22日	9月 4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	米沢市外1箇所
	10月25日	土		9月 5日	9月18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	山形市外1箇所
福島	10月 3日	金		7月30日	8月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	郡山市会場、注意事項あり
	10月 4日	土		7月30日	8月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	会津若松会場外2箇所、注意事項あり
	10月18日	土		8月20日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	福島市会場外2箇所
	11月29日	土		9月24日	10月 2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	広野町、注意事項あり
栃木	11月 9日	日		9月 8日	9月19日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	足利市外5箇所
群馬	11月 2日	日		9月 8日	9月19日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	前橋市外1箇所
	11月15日	土		9月 8日	9月19日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	高崎市
	11月22日	土		9月 8日	9月19日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	渋川市
埼玉	10月 5日	日		8月15日	8月25日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	さいたま埼玉大、注意事項あり
千葉	11月16日	日		9月19日	10月 7日					乙4				木更津市
	11月16日	日		9月19日	10月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	勝浦市
	11月22日	土		9月19日	10月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	館山市
	11月23日	日		9月19日	10月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	銚子市
中央試験 センター （東京）	9月11日	木		7月22日	8月 1日					乙4				中央試験
	9月20日	土		7月28日	8月 8日					乙4				
	9月27日	土		8月 4日	8月15日					乙4				
	10月 5日	日		8月12日	8月22日					乙4				
	10月11日	土		8月18日	8月29日		乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種	
	10月13日	月・祝		8月18日	8月29日					乙4				
	10月19日	日		8月25日	9月 5日					乙4				
	10月26日	日		9月 1日	9月12日					乙4				
	11月 1日	土		9月 8日	9月19日	甲種								
	11月 8日	土		9月16日	9月26日					乙4				
	11月15日	土		9月22日	10月 3日					乙4				
	11月22日	土		9月29日	10月10日					乙4				
	11月24日	月・休		9月29日	10月10日		乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種	
神奈川	9月28日	日		8月 8日	8月21日					乙4				専修大学、注意事項あり
	10月26日	日		9月 8日	9月19日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	慶應義塾大学、注意事項あり
新潟	9月 4日	木		7月24日	8月 8日					乙4				新潟市
富山	9月28日	日		8月 6日	8月21日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	新潟市外2箇所
	10月11日	土		8月25日	9月 2日	甲種	乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種	富山市
	10月12日	日		8月25日	9月 2日					乙4				富山市、注意事項あり
	10月19日	日		8月25日	9月 2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	高岡市、注意事項あり
石川	10月25日	土		8月25日	9月 2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	魚津市、注意事項あり
	9月28日	日		8月15日	8月22日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	金沢市
	10月22日	水		9月10日	9月17日					乙4			丙種	
	10月26日	日		9月10日	9月17日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	小松市
福井	10月19日	日		8月21日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	福井市、注意事項あり
	10月19日	日		8月21日	8月28日					乙4				敦賀市、注意事項あり
山梨	10月26日	日		8月21日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	福井市外1箇所、注意事項あり
	10月19日	日		8月28日	9月 5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	甲府市
	10月25日	土		8月28日	9月 5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	都留市
長野	10月 5日	日		8月18日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	上田市
	10月12日	日		8月18日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	飯田市
	10月19日	日		8月18日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	長野市
	10月26日	日		8月18日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	松本市
岐阜	10月19日	日		8月29日	9月 8日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	ソフトピア
	10月26日	日		8月29日	9月 8日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	多治見高、注意事項あり
	11月 9日	日		9月19日	9月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	飛騨高山
	11月16日	日		9月19日	9月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	ソフトピア
静岡	11月 2日	日		8月27日	9月 3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	沼津市外2箇所
	11月 9日	日		8月27日	9月 3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	下田市外5箇所
愛知	9月21日	日		8月12日	8月20日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	名古屋市
	9月28日	日		8月12日	8月20日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
滋賀	10月 8日	水		8月18日	8月25日					乙4				大津市、注意事項あり
	10月 9日	木		8月18日	8月25日					乙4				
	10月10日	金		8月18日	8月25日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
	10月11日	土		8月18日	8月25日					乙4				
	10月12日	日		8月18日	8月25日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
京都	10月12日	日		7月29日	8月 5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	舞鶴市、注意事項あり
	10月19日	日		7月29日	8月 5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	京都市、注意事項あり
大阪	10月 5日	日		8月18日	8月25日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	大阪大学
兵庫	10月12日	日		8月22日	8月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	神戸外5箇所

奈良	11月16日	日	9月30日	10月7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	奈良県天理市
和歌山	10月12日	日	9月1日	9月8日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	和歌山市
	10月19日	日	9月1日	9月8日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	和歌山市外2箇所
鳥取	10月12日	日	8月15日	8月26日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	倉吉市
	10月19日	日	8月15日	8月26日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	鳥取市外1箇所
島根	10月26日	日	8月22日	9月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	松江市外2箇所、注意事項あり
	11月2日	日	8月22日	9月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	出雲市外2箇所、注意事項あり
岡山	10月26日	日	8月25日	9月4日		乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	倉工(高校生)外3箇所、注意事項あり
	10月26日	日	8月25日	9月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	岡山大学、注意事項あり
広島	11月9日	日	9月18日	9月26日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	福山市
	11月9日	日	9月18日	9月26日		乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	三次市
	11月16日	日	9月29日	10月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	広島市
山口	11月15日	土	8月29日	9月11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	山口市外2箇所
	11月15日	土	8月29日	9月11日					乙4				萩市外3箇所
	11月16日	日	8月29日	9月11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	下関市外2箇所
	11月16日	日	8月29日	9月11日					乙4				下松市外2箇所
香川	11月2日	日	9月16日	9月26日					乙4				高松市、注意事項あり
	11月3日	月・祝	9月16日	9月26日	甲種	乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種	高松市
愛媛	10月19日	日	8月26日	9月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	松山大学外2箇所、注意事項あり
	10月26日	日	8月26日	9月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	新工(高校生)外1箇所、注意事項あり
高知	10月19日	日	8月29日	9月11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	四万十市
	10月26日	日	8月29日	9月11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	高知市、注意事項あり
佐賀	11月9日	日	9月1日	9月10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	佐賀市
長崎	11月22日	土	9月8日	9月19日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	長崎市外8箇所、注意事項あり
熊本	11月2日	日	9月8日	9月16日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	熊本市外3箇所
大分	11月16日	日	9月11日	9月24日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	別府市外5箇所、注意事項あり
	11月24日	月・休	9月11日	9月24日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	大分市、注意事項あり
宮崎	11月16日	日	8月29日	9月11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	宮崎市外5箇所、注意事項あり
鹿児島	11月8日	土	9月24日	10月2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	鹿児島市外6箇所、注意事項あり

※受験地の詳細と「注意事項あり」の表示がある場合は、当センターホームページをご参照ください。

消防設備士試験日程（願書受付が8・9月にかかる日程分を抜粋） ※試験日など変更になることがありますので、ホームページ等で確認して下さい。																			
支部等名	試験日			受付期間		甲種						乙種							受験地・ 注意事項※
	月	日	曜日	開始日	締切日	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	
北海道	9月7日	日		7月28日	8月4日	甲特													苫小牧市
	10月19日	日		9月4日	9月11日		甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	札幌市外4箇所
	11月16日	日		9月29日	10月6日		甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	函館市外1箇所
青森	10月5日	日		8月25日	9月1日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	青森市
	10月11日	土		8月25日	9月1日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	弘前市外2箇所
宮城	10月5日	日		8月18日	8月26日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	仙台市
秋田	11月2日	日		9月19日	10月3日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	秋田市、注意事項あり
山形	11月15日	土		9月26日	10月9日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	山形市
中央試験 センター （東京）	9月15日	月・祝		7月22日	8月1日		甲1												中央試験
	9月21日	日		7月28日	8月8日					甲4									
	10月4日	土		8月12日	8月22日	甲特		甲2	甲3		甲5								
	10月18日	土		8月25日	9月5日												乙6		
	10月25日	土		9月1日	9月12日					甲4									
	11月3日	月・祝		9月8日	9月19日													乙7	
神奈川	11月16日	日		9月22日	10月3日		甲1								乙4				専修大学、注意事項あり
	9月28日	日		8月8日	8月22日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
新潟	10月26日	日		9月8日	9月19日													乙6	慶應義塾大学、注意事項あり
	10月19日	日		8月25日	9月9日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	新潟市外2箇所
石川	11月15日	土		9月29日	10月6日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	金沢市
滋賀	11月20日	木		9月29日	10月6日		甲1	甲2	甲3							乙5	乙6		大津市、注意事項あり
	11月21日	金		9月29日	10月6日	甲特				甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4			乙7	
	11月22日	土		9月29日	10月6日		甲1	甲2	甲3								乙5	乙6	
	11月23日	日		9月29日	10月6日					甲4						乙4		乙7	
奈良	9月21日	日		8月7日	8月14日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	奈良県天理市
鳥取	11月23日	日		9月16日	9月25日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	鳥取市外1箇所
島根	11月30日	日		9月19日	10月3日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	松江市外1箇所
徳島	10月11日	土		9月2日	9月9日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	徳島、注意事項あり
沖縄	10月5日	日		8月21日	8月28日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	宮古島市外1箇所
	10月26日	日		9月16日	9月24日	甲特	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	西原町

※受験地の詳細と「注意事項あり」の表示がある場合は、当センターホームページをご参照ください。

Voice...

編集後記

2025 July

皆様の中には、今年度に入り、勤務先の企業や学校で、屋外避難や初期消火など火災を想定した自衛消防訓練に参加された方も多いのではないのでしょうか。特に新年度が始まる4月に新入社員や新入生を迎える企業・組織では、新メンバーが職場等に慣れ、体制が整うタイミングで訓練を実施することにより、避難手順や安全対策を共有する良い機会となるのも理由のひとつかと思うところです。

以前参加した訓練では、消火器の使い方を「ピノキオ」、避難時の行動を「おかしも」といった合言葉で教わった経験があります。一見、イタリアのスイーツのような響きですが、ホウレンソウ（報連相）と同じく、頭文字を組み合わせると覚えやすくなった言葉です。また、熱中症予防の「かきくけこ」という合言葉もあるようです。

ただ、これらの言葉は行動のきっかけとして役立ちますが、緊急時には合言葉の意味を思い出す余裕もないと思います。だからこそ、実際に訓練を体験し、合言葉とともに手順を体で覚えるのが一番だと考えます。まずは企業や学校で行われる訓練に参加して、実践してみたいかがでしょうか。

都道府県
後援：総務省消防庁

その先の未来へ。

江村 美咲
EMURA Misaki
プロフェンシング選手

10年目の免状更新

危険物取扱者

危険物取扱者免状 見本

氏名	花子 美咲	本籍	東京都	
生年月日	昭和57年10月5日	交付年月日	交付番号	交付知事
種別	危険物			
乙種第1類				
乙種第2類	H27.04.01	00000	東京	
乙種第3類				
乙種第4類				
乙種第5類				
両備				

写真の書換えは
平成37年
4月1日まで
0000 0000 0000

印

消防設備士

消防設備士免状 見本

氏名	花子 美咲	本籍	東京都	
生年月日	昭和57年10月5日	交付年月日	交付番号	交付知事
種別	消防設備士			
乙種第1種				
乙種第2種				
乙種第3種				
乙種第4種				
乙種第5種				
両備				

写真の書換えは
平成37年
4月1日まで
0000 0000 0000

印



免状に記されている写真の書換え期日を過ぎている方は
速やかに書換え手続きを行ってください。

消防試験研究センターだより

Voice...

vol.410 令和7年7月発行

編集・発行

一般財団法人消防試験研究センター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 大同生命霞が関ビル19階

TEL.050(3803)9272(企画研究部) / FAX.03(5511)2751

ホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>

